令和４年度の事業報告書

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ

１　事業の成果

令和４年度は、コロナウィルス感染拡大防止対策に取り組みつつ各種事業を行った。4月にはみちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター園庭の野営場が正式オープンし、週末を中心に多くの利用者が来館者の新しい層として加わった。6月には全線開通3周年を記念し、名取トレイルセンター運営協議会主催で「みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター TRAIL DAYS」を2日間にわたり開催した。館内には多くのハイカーや地域住民の皆様が集い、センター設置目的のひとつである「地域の交流拠点」として賑わいを見せた。

当年度初めの4月から6月にかけては、「みちのく潮風トレイル（以下、「MCT」という）」の魅力向上と管理運営体制の充実を目的とし、MCT運営計画の構成員へヒアリングを行った。また、利用者への統一的な情報提供やトレイルを活用した地域の魅力発信や商品造成等を推進することを目的としたQ&A集、トレイルを活用して構成員や地域関係者が主体的に実施した取組を紹介する事例集も作成した。その他、東京大学名誉教授の堀繁氏と駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使リーナ・アンナーブ閣下にMCTを視察いただいた上で、それぞれ釜石市と石巻市で地域関係者向けの特別講演会を開催した。講演会の会場となった市町村では、その後のトレイルの利活用への機運の高まりが感じられるようになった。

TRAIL GATE（物品販売）では、Hiking Map Bookの売上が好調でNPOの運営を支える重要な資源となっている。また、利用者の裾野を広げることを目的とし、4月から販売開始したハイキングパスポート、ピンバッチも好評で、楽しみながらハイキングをする方々が増えることで、トレイルの維持管理費が支えられるという好循環が証明されつつある。一方で、3月に全国放送のNHKラジオ番組、「石丸謙二郎の山カフェ」でみちのく潮風トレイルが紹介されたことを契機に、Hiking Map Bookやハイキングパスポートの売れ行きが瞬間的に大きく伸びた。全国への周知が行き届いていないことの現れでもあり、来年度はこれまで通りSNSやメディアでの広報を活用しながら、マスメディアへの露出機会を増やし、より多くの方々にMCTを歩きに来ていただけるよう取り組む。

春の大型連休及び秋以降にハイカーの数が増加し、センターに来館したハイカーから「トレイル上で何人かのハイカーとすれ違って情報交換をした」等の話をよく聞くようになった。また、12月以降は、入国制限が緩和されたため、外国人ハイカーが増加している。同時に外国からの問い合わせも増え「春に二週間程度のセクションハイクをしたい」等具体的な計画について相談されるようになった。日本人はもちろん、外国人ハイカーも安心して歩けるよう来年度はハイカーを受け入れてくれる宿や地域事業者へのヒアリング等を行い、受入れる側の負担や課題を把握・軽減できるよう配慮すると共に、ハイカーの利便性向上に引き続き取り組む。トレイルが地域の方々とハイカー双方に喜んでいただけるものとして成長していけるよう当法人の目的達成に職員全員で努める。

２　事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事 業 名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費 (単位：千円)
①トレイルの整備・維持管理事業	・トレイルの巡視を実施。 ・トレイルの整備を実施。 ・トレイル維持管理のための管理台帳の管理・更新。	通年	トレイル沿線	８人	トレイルを利用する市民及びハイカー 不特定多数	3,464

②トレイルに関わる各種事業及び連絡調整・連携事業	・トレイルの管理運営に関わる東北各地の協力団体と管理運営に関する協議を行い、トレイルを運営統括。 ・トレイルの運営に関わる東北各地の団体と定期会議（連絡会）を開催。 ・トレイル沿線事業者を訪問し、協力依頼。	会議：通年（地域連絡会12回、サテライト連絡会2回、WEB会議9回） 事業者訪問、Q&A、事例集作成、講演会の開催等	トレイル沿線、WEB トレイル沿線	5人	各地の協力団体、トレイルを利用する市民及びハイカー	12,888
③トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	・トレイルを活用したハイキングイベント、自然観察会などの開催。	数珠つなぎハイキング（6回）、うつくしま浜街道トレイル(仮)の造成事業、名取市自然観察会（2回）	東松島市～相馬市のトレイル沿線、福島県新地町～いわき市、名取市内	5人	不特定多数	5,008
④トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	・展示会等への出展、広報活動。	通年（トレイルセンター内でのイベント9回）、 ガイドブックの作成	トレイルセンター内、トレイル沿線	5人	各地の協力団体、トレイルを利用する市民及びハイカー 不特定多数	1,315
⑤トレイルに関わる調査・研究事業	・トレイルとその沿線地域の発展に資するため、トレイルに関わる調査研究を行い、各地の協力団体と共有・活用。	「ロングトレイルの維持管理・運営システム構築の考え方」検討会:3回、イベント開催:1回	東京都	人	不特定多数	－
⑥トレイルに関わる人材育成・ガイド養成事業	・トレイルに関わる人材育成、ガイド養成のための講座を開設し、地域住民によるガイド体制構築。	本事業年度は、実施なし	－	－	－	－
⑦上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	・トレイルを管理運営するための拠点施設の管理運営。 ・ハイカーの受け入れ、地域住民との交流促進。	施設の管理：通年 環境教育・地域交流のためのイベント：3回	名取市	6人	トレイルセンター及びトレイルを利用する市民、ハイカー 不特定多数	21,516
⑧その他、第3条の目的を達成するために必要と認められる事業	・トレイルを歩く際に必要な地図等の作成・販売。	Hiking Map Book・Data Bookの作成：通年 Hiking Map Bookの販売：通年	トレイル沿線 トレイル沿線、東京都	5人	トレイルを利用する市民、ハイカー	5,116

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費 (単位：千円)
①旅行業法に基づく旅行業	・将来的に旅行業免許を取得した後の旅行業	本事業年度は、実施なし	－	－	－
②旅行業法に基づく旅行業者代理業	・将来的に旅行業者代理業免許を取得した後の旅行業代理業	本事業年度は、実施なし	－	－	－

③宿泊施設及びガイドのあっせん事業	・ハイカーが利用できる宿泊施設を把握し提供する。 ・ガイドを希望するハイカーに、ガイドを紹介する。	本事業年度は、実施なし	－	－	－
④トレイルに関する旅行商品企画事業	・トレイルを楽しむための旅行商品を企画し、販売する。 ・トレイルを楽しむための旅行商品の販売を企画する旅行会社等に対して企画協力を行う。	本事業年度は、実施なし	－	－	－
⑤トレイル関連商品の販売事業	・トレイルに関わる用品、飲料を販売する。 ・お土産品を制作、販売する。	TRAIL GATEでの物販、自販機での飲料販売：通年	名取トレイルセンター	５人	2,811

特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ

令和４年度　事業報告

目次

1.　特定非営利活動に係る事業

1.1.トレイルの整備・維持管理事業 1
1.2.トレイルに関わる各種事業及び連絡調整・連携事業 4
1.3.トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業 10
1.4.トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業 18
1.5.トレイルに関わる調査・研究事業 46
1.6.トレイルに関わる人材育成・ガイド養成事業 47
1.7.上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業 48
1.8.その他、第３条の目的を達成するために必要と認められる事業 65

2.　その他事業

2.1.旅行業法に基づく旅行業 68
2.2.旅行業法に基づく旅行業者代理業 68
2.3.宿泊施設及びガイドのあっせん事業 68
2.4.トレイルに関する旅行商品企画事業 68
2.5.トレイル関連商品の販売事業 69

事業種別	(1.1)トレイルの整備・維持管理事業	事業番号	(1.1)-1
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター管理運営等業務 (4)環境省所管区間のトレイルの管理		
期間	令和 4 年 4 月1日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体	一般社団法人浄土日和、NPO 法人体験村・たのはたネットワーク		
担当者	業務主任:関博充　業務補佐:西澤美幸、森恭平		

実施内容

【事業概要】

みちのく潮風トレイルの環境省所轄区間について、路面及び階段等路体施設、標識、草の繁茂状況、倒木、周辺の枯損木等の確認を行い、必要に応じて草刈り、枝払い、ゴミ拾い等軽度の管理行為を行うとともに、実施結果について東北地方環境事務所、所管する宮古自然保護官事務所担当官及び担当する2つのサテライト(北山崎 VC、浄土ヶ浜 VC)に情報共有を行った。

【目的】

環境省が維持管理を担う区間について、定期的に整備活動を実施することで、常に歩ける状態を維持するとともに、利用者にとって有益な情報の収集と発信を行うことを目的として実施した。

【実施内容】

下記実施区間①、④～⑧は、年12回、②、③年 10 回実施し、終了後は所定の様式にまとめ、関係者に報告した。必要に応じて HP 等で情報発信した。

① 岩手県久慈市宇部町小袖～久喜、②岩手県下閉伊郡普代村黒崎、③岩手県下閉伊郡田野畑村北山崎、④岩手県下閉伊郡田野畑村真木沢～岩泉町小本、⑤岩手県宮古市重茂与奈～とどヶ崎、⑥岩手県山田町川代～大沢浜川目、⑦岩手県下閉伊郡山田町船越大浦霞露ヶ岳参詣道入口～霞露ヶ岳頂上、⑧岩手県下閉伊郡山田町船越田の浜牛転橋峠～国民宿舎タブノキ荘跡地

ルート上の倒木撤去(処理前)

倒木撤去(処理後)

考察、及び今後の展開

環境省管轄区間は、他と比べ自然度が高く、トレイルのために開設した場所のため、定期的な整備を行わないと、道が自然に還りやすい。令和 5 年度からは委託元より直接関係団体に業務が委託されるが、今後も関係団体と緊密に連携して情報発信に努めたい。

事業費 (受託金額)	3,464,472 円	経費 (人件費含む)	3,408,285 円	売上	56,187 円

事業種別	(1.1)トレイルの整備・維持管理事業	事業番号	(1.1)-2
事業名 業務名	第一生命保険株式会社主催　みちのく潮風トレイル一斉イベント開催支援		
期間	令和4年 10 月 2 日～令和4年 10 月 2 日		
委託元			
関係団体	第一生命保険株式会社		
担当者	業務主任:相澤久美　　業務補佐:板橋真美		

実施内容

【事業概要】

令和 3 年度に引き続き、第一生命保険株式会社が主催するみちのく潮風トレイルを活用したイベントの開催支援を行った。トレイル沿線各地の営業所が中心となり企画募集をし、社員やその家族、顧客や地域住民の方々がトレイルハイキング、クリーン活動などに参加した。当法人では、企画会議へのオブザーバー参加、現地のサテライト施設や市町村担当者の紹介、広報支援、現地でのイベント参加(相馬エリア)等、主催者への協力を行った。

開催日時:令和 4 年 10 月 2 日(土) 10:00～

	開催場所	内容
①	青森県八戸市(種差海岸)	「SDGs ウォーキングイベント」
②	岩手県宮古市 (赤前運動公園向かいの海岸)	クリーン活動
③	岩手県釜石市(根浜海岸周辺)	クリーン活動
④	岩手県大船渡市(吉浜海岸)	クリーン活動
⑤	福島県相馬市(松川浦)	ウォーキング＆松川浦環境公園の除草

【目的】

「地域貢献及び SDGsの観点から企業を挙げてみちのく潮風トレイルを応援したい」と、令和 3 年度より第一生命株式会社によるこの取組みが始まった。その後、沿線のいくつかの営業所から当法人の応援会員の申込があり、継続的に支援していただいている。MCT 憲章にある「皆で育てる道」という一文の通り、トレイル沿線で事業を行う企業との連携によって、地域でのみちのく潮風トレイルの持続可能な整備体制の構築及び利用促進に繋げることを目的としている。

【実施内容】

昨年度はトレイル上の7箇所でクリーン活動を行ったが、今年度は各地それぞれ工夫を凝らした活動となり、ハイキングとゴミ拾いをセットにした企画をメインに、10 月に一斉に活動を実施。本社からも職員の参加もあり、延べ 420 名で活動が行われた。実施前には、トレイルクラブが参加予定の支店の幹部に対して、MCT の概要や理念を説明する機会も設け、MCT に対する理解を深めた。

八戸市 「SDGs ウォーキング」	釜石市 清掃活動中
相馬市環境公園	相馬市環境公園の除草作業

考察、及び今後の展開

令和４年６月、第一生命による２ 年目のトレイル清掃活動の打合せが実施された。資料タイトルは「みちのく潮風トレイル運営について（案）」。共通コンセプトには「地域住民も巻き込み社内の取り組みだけに終わらせない」「毎年恒例となる地域の一大イベントへの成長を目指し広くトレイルと周辺地域に貢献を」「地域事情に合わせた運営を。但しトレイル憲章の精神遵守」など社の方針が列記されていた。MCT の運営体制図や憲章も紹介されており、MCT への共感と主体的な関与の姿勢が示されていて感涙。参加した皆さんの感想も後日届けられ、「有意義な活動だった」「ゴミ拾いで役に立てたと実感」「運動不足解消になった」「支社を超えた活動に意味があった」「MCT の認知度を上げるために力になれることは何か？」など、MCT のさらなる活用に繋がるポジティブな内容が多かった。地元企業との連携もトレイルの持続可能な運営には欠かせない。一緒に歩き、活動することが大切だということを再確認した。

企業においては人事異動等によりそれまでのリーダーが交代する場合などに継続性が担保できなくなる懸念がある。活動を持続していくためには、トレイルクラブや地域側からの積極的な働きかけが必要である。ハイキングやクリーン活動を年中行事として恒例化する等、地域貢献の行事を仕組化して、活動が当たり前のものとして根付くよう協働関係を構築していく必要がある。

事業費 （受託金額）	０円	経費 （人件費含む）	０円	売上	０円

事業種別	(1.2)トレイルに関わる各種事業及び連絡調整連携事業	事業番号	(1.2)-1
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター管理運営等業務 (3)みちのく潮風トレイルの運営に関する業務、(7)報告書の作成		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体	運営計画構成員		
担当者	業務主任:相澤久美、関博充　業務補佐:西澤美幸、森恭平、松川亮太		

実施内容

【事業概要】

「みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会事業基本計画」事業1に基づき、サテライトと連携して、トレイル全線の運営にあたった。業務実施後、四半期毎に報告書としてまとめ、委託元に提出した。(事業(1.7)-1 でも同基本計画の事業1を実施している)

【目的】

みちのく潮風トレイル全線及びみちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターの運営を円滑に実施し、みちのく潮風トレイルが地域やハイカーと共に育てられ成長すること、結果東北沿岸の振興に資する持続可能なトレイルとして東北沿岸に根付くことを目的とし本事業を実施した。

【実施内容】

①トレイル沿線の情報収集及び発信

トレイル全線の情報を収集するため、構成員に一斉巡視等を依頼し、サテライト経由でその情報及び適宜必要な情報を収集した。収集した情報は整理し、運営上有益な情報は、サテライトを経由し、路線管理者に情報共有を行った。対応が必要な場合は、東北地方環境事務所担当官またはサテライトを経由し、路線管理者に対応を依頼した。年度末には、運営計画構成員から、次年度トレイル沿線で実施予定のイベント情報を収集し取りまとめ、HP で発信した。

宮城県東松島市～福島県相馬市までのサテライト管轄区間における情報を関係者から直接収集集約し、関係者と情報共有を行うとともに、適宜現地を確認し、情報収集を行った。

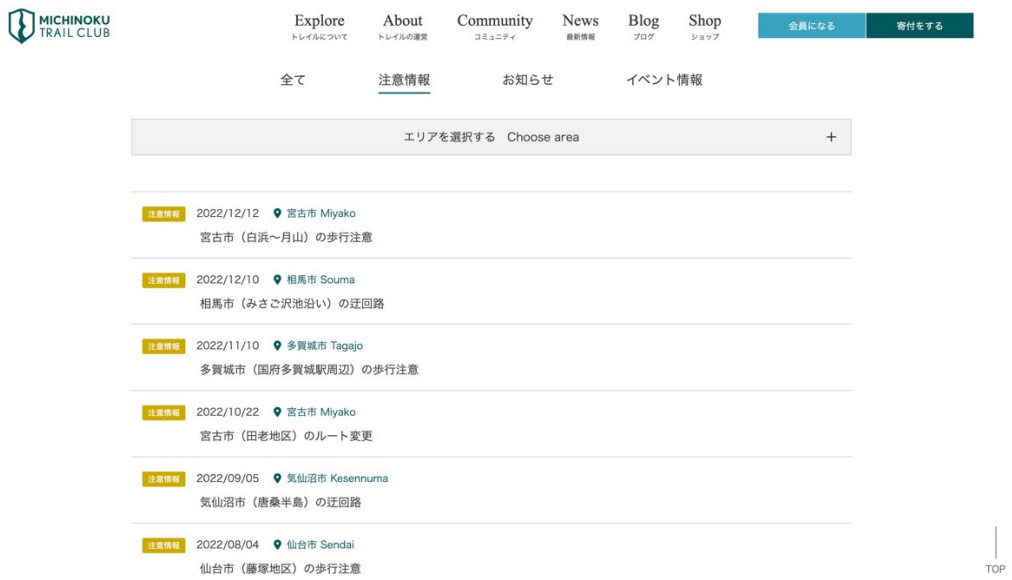
②地域連絡会の開催

運営計画に基づき、トレイルの運営に関しての課題や情報共有を図るため、サテライトと協力して、各管轄区間の県、市町村を参集し、地域連絡会を開催した。

③サテライト連絡会の開催

運営計画に基づき、トレイル全線を運営していくための課題や情報の共有、運用方針について協議するため、サテライト連絡会を2回開催した。

④上記業務を実施後、四半期毎に報告書としてまとめ、委託元に提出した。



収集した情報は適宜 HP にて発信した

サテライト連絡会の様子（相馬市にて実施）

考察、及び今後の展開

運営計画構成員やハイカー等の協力のもと、トレイル全線に関する情報の収集、トレイルセンター等での情報発信など、円滑に進めることができた。令和 5 年度においても適正かつ効果的に事業を実施する。

事業費 （受託金額）	12,888,117 円	経費 （人件費含む）	13,503,976 円	売上	625,859 円

※上記の金額は(1.2)-2、(1.2)-3 を含む。

事業種別	(1.2)トレイルに関わる各種事業及び連絡調整連携事業	事業番号	(1.2)-2
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター管理運営等業務 (6)トレイルの協働型管理運営体制強化に向けた支援制度の検討		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体	運営計画構成員(4 県 28 市町村)、東京大学名誉教授 堀 繁 氏 駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使 リーナ・アンナーブ閣下		
担当者	業務主任:相澤久美　業務補佐:関博充、森恭平、松川亮太		

実施内容

【事業概要】

沿線地域内外の事業者や住民によるトレイルへの参画を促すため、構成員へのヒアリングやトレイルの Q&A 集並びに活用事例を取りまとめた事例集の作成、地域の景観づくりや海外のトレイルに関する知見を有する有識者を招聘し、講演会を実施した。

【目的】

基本計画事業 1 に基づき、トレイルの魅力向上と管理運営体制の充実を目的とし、沿線自治体の主体的な取組及び住民や民間事業者等の地域関係者の参画を促進するための支援を行うことを目的とする。

【実施内容】

① 構成員へのヒアリング

構成員及び地域連絡会オブザーバー等の関係者 43 団体にヒアリングを行い、トレイルに関する問い合わせや構成員及びオブザーバー等が実施したトレイルを活用した取り組みについて確認した。

② トレイルに関する Q&A 集の作成

①のヒアリング結果やトレイルセンターに寄せられる利用者等からの代表的な問い合わせを抽出した上で、東北地方環境事務所担当官及び現地保護官と協議し、Q&A 集を作成した。また、 Q&A 集と併せてトレイル沿線上の食の旬や植物の見頃、ハチやヤマビル等の盛んな時期を取りまとめた季節ごよみ（フェノロジー）を作成した。

③ トレイルを活用した取組に関する事例集の作成

①のヒアリング結果を踏まえ、東北地方環境事務所担当官及び現地保護官と協議の上、構成員やその他の地域関係者に配布し、他地域への横展開に資する取り組みを取りまとめた事例集を作成した。

④ 有識者による現地視察と講演会の開催

(ア)みちのく潮風トレイル特別講演会

「誰もが歩いてみたいと思う地域の魅力づくり」

① 講師：東京大学名誉教授 堀 繁 氏

② 講演内容：歩く人の目線を尊重した道づくり・街づくりについて。

③ スケジュール：7 月 19 日（火）視察（宮古市、大槌町、釜石市）

7 月 20 日（水）講演会（会場：釜石 PIT）

7 月 21 日（木）視察（普代村、久慈市、洋野町、八戸市）

(イ)みちのく潮風トレイル特別講演会

「トレイルを活用した持続可能な地域づくり」

① 講師：駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使 リーナ・アンナーブ閣下

② パネラー：

駐日ヨルダン・ハシェミット王国大使 リーナ・アンナーブ閣下

一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会理事 芹澤 健一氏

環境省東北地方環境事務所長 田村 省二氏

③ 内容：リーナ・アンナーブ閣下による基調講演（ヨルダントレイルの事例紹介）及びパネラーによるトークセッション。

④ スケジュール：10 月 18 日（火）視察

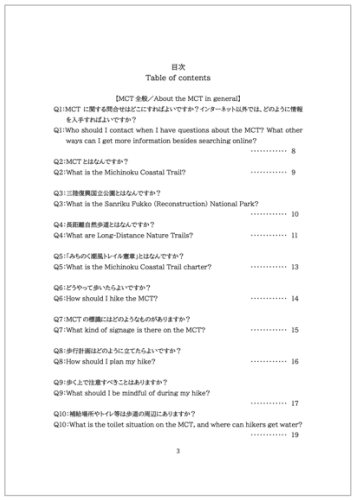
（八戸市、久慈市、普代村、田野畑村）

10 月 19 日（水）視察（宮古市、大船渡市、南三陸町）

10 月 20 日（木）視察・講演会

（石巻市、会場：石巻グランドホテル）

10 月 21 日（金）視察（塩竈市、多賀城市、名取市）


目次
Table of contents

[MCT 全般／About the MCT in general]

Q1:MCT に関する問合せはどこにすればよいですか？インターネット以外では、どのように情報を入手すればよいですか？
Q1:Who should I contact when I have questions about the MCT? What other ways can I get more information besides searching online? …… 8

Q2:MCT とはなんですか？
Q2:What is the Michinoku Coastal Trail? …… 9

Q3:三陸復興国立公園とはなんですか？
Q3:What is the Sanriku Fukko (Reconstruction) National Park? …… 10

Q4:長距離自然歩道とはなんですか？
Q4:What are Long-Distance Nature Trails? …… 11

Q5:「みちのく潮風トレイル憲章」とはなんですか？
Q5:What is the Michinoku Coastal Trail charter? …… 13

Q6:どうやって歩いたらよいですか？
Q6:How should I hike the MCT? …… 14

Q7:MCT の標識にはどのようなものがありますか？
Q7:What kind of signage is there on the MCT? …… 15

Q8:歩行計画はどのように立てたらよいですか？
Q8:How should I plan my hike? …… 16

Q9:歩くとて注意すべきことはありますか？
Q9:What should I be mindful of during my hike? …… 17

Q10:補給場所やトイレ等は歩道の周辺にありますか？
Q10:What is the toilet situation on the MCT, and where can hikers get water? …… 19

3

②Q&A 集の作成

③事例集の作成

 ⑤　(ア)堀先生講演会	 ④(イ)ヨルダン大使講演会
考察、及び今後の展開	
特別講演会の会場となった市町村ではその後のトレイルの利活用への機運の高まりが感じられるようになった。継続してトレイルに対する取り組みが実施されるよう、Q&A 集・事例集等の成果物を活用しながら構成員に働きかけるとともに、トレイル運営が円滑に進むよう、引き続き顔の見える関係性づくりに励みたい。	

事業種別	(1.2)トレイルに関わる各種事業及び連絡調整連携事業	事業番号	(1.2)-3
業務名	地域事業者との連携(サテライトウェブ会議)		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
委託元			
関係団体	各サテライト運営組織		
担当者	業務主任:関博充　業務補佐:西澤美幸、森恭平、松川亮太		

実施内容

【事業概要】

「みちのく潮風トレイル運営計画」に定められたサテライト施設を運営する組織やその他トレイル関連事業を協働する組織との情報共有や課題等を協議するために、月一回程度を目安にウェブ会議を開催した。

【目的】

広域連携の取り組みである「みちのく潮風トレイル」の運営に関して、より主体的な立場であるサテライト施設の運営団体と、さまざまな取り組みを円滑に進めるためには信頼関係と連携体制の構築が不可欠である。各施設はそれぞれ離れているが、定期的に各団体が持つ各地の最新情報、取り組み状況、課題等共有し、中長期的にトレイル全線の利用推進に必要な取り組みを見極めることを目的とし、ウェブ会議を開催した。

【実施内容】

5月13日(金)　13:30～　近況報告、サテライト連絡会、ガイドの紹介、ハイカーの宿泊場所の情報提供などについて

6月10日(金)　13:30～　近況報告、開催イベントの協力依頼などについて

7月5日(火)　9:00～　各地域連絡会や課題の共有(各サテライトから報告)、課題解決に向けた協議など

9月5日(月)　9:15～　近況報告、協力金の使用依頼などについて

10月3日(月)　9:15～　近況報告、開催イベントの協力依頼などについて

11月2日(水)　9:15～　近況報告、地域連絡会、サテライト連絡会、等について

12月9日(金)　9:15～　近況報告、種差ICで実施した清掃活動について

1月11日(水)　9:15～　近況報告、地域連絡会、サテライト連絡会について

2月14日(火)　13:30～　各地域連絡会や課題の共有(各サテライトから報告)、課題解決に向けた協議

3月15日(水)　9:15～　近況報告、リアル会議について

考察、及び今後の展開

年2回開催しているサテライト連絡会とともに、このウェブ会議は、サテライト施設を運営する地域団体間との情報共有や課題解決に向けた協議の場として、非常に有益であるため、今後も継続して開催する。統括本部としてトレイル運営に取り組むだけではなく、東北沿岸の歩く旅の文化を醸成させることを目的とする当法人として、地域事業者への適切な情報提供と資金的サポートを常に意識し取り組む必要があると考える。

事業種別	(1.3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業番号	(1.3)-1
事業名 業務名	うつくしま浜街道トレイル(仮)の造成事業 ～ふくしま沿岸を歩く旅で何度も訪れてもらうための仕掛け作り～		
期間	令和 4 年 8 月 8 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元	うつくしま浜街道観光推進会議		
関係団体	一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所 合同会社マトイクリエイティブ 公益財団法人福島県観光物産交流協会 宮城大学小沢研究室		
担当者	業務主任:相澤久美　業務補佐:森恭平		

実施内容

【事業概要】

みちのく潮風トレイルは青森県八戸市～福島県相馬市までの 4 県 29 市町村がつながるロングトレイルであるが、令和 2 年度より福島県新地町～いわき市までの 13 市町村の協議体である「うつくしま浜街道観光推進会議」が中心となり、福島県浜街道地域にロングトレイル(うつくしま浜街道トレイル(仮))を敷設する事業が進んでいる。同トレイルはみちのく潮風トレイルの南端に続くトレイルになることから、みちのくトレイルクラブとしても同トレイルの敷設に協力している。

【目的】

みちのく潮風トレイルは東日本大震災の環境省の復興事業の一つとして進められた事業であり、関係者でこのトレイルをいつまでも維持していくために「みちのく潮風トレイル憲章」が定められている。憲章の中には「震災をいつまでも語り継ぐための記憶の道とします。」という一文が記されている。東日本大震災は地震・津波・原子力災害が引き起こされた複合災害であるが、みちのく潮風トレイルは福島県相馬市がターミナスとなっていることから、原子力災害について歩きながら感じることはない。

ふくしま浜街道トレイル(旧称:うつくしま浜街道トレイル(仮))が開通することで、2つのトレイルが東日本大震災を語り継ぐための道となること、そして福島県浜通り地域にハイカーが訪れるきっかけとなることを目的に事業に取り組んでいる。

【実施内容】

① キックオフミーティングの実施(契約期間外の 7 月 1 日に実施)

うつくしま浜街道観光推進会議に参画している 13 市町村の担当者と会議を開催し、令和 3 年度に実施する事業について説明並びに協議した。この会議おいてトレイルの名称が「ふくしま浜街道トレイル」に正式決定した。

② 路体の管理者の確認

一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所が策定した暫定ルートについて、市町村ごとに路体の管理者の確認を行った。令和 5 年度に管理者よりトレイルに設定する旨の許認可を取得し、決定ルートとする予定である。

③ ロゴ・道標の作成

合同会社マトイクリエイティブに委託し、トレイルのロゴ並びにロゴを活用した道標を作成した。トレイルを俯瞰した時に、西から阿武隈高原・トレイル（道）・太平洋が並ぶ様子を線で表現し、みちのく潮風トレイルのロゴとも親和性があるデザインとした。

ふくしま浜街道トレイルは道標を新たに設置することができる場所が少なく、既存の工作物や協力施設にトレイル上であることを示すステッカーを貼付することで検討が進んでいたことから、ロゴステッカーと矢印ステッカーの 2 種類を作成した。

④ ポスター・パンフレットの作成

合同会社マトイクリエイティブに委託し、ふくしま浜街道トレイルのポスター並びに令和 3 年度に一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所が整理したふくしま浜街道トレイル全線のモデルコースを掲載したパンフレットを作成した。作成したポスターとパンフレットは今後トレイル沿線上の観光施設にて配架する他、イベント実施時に配布する等、PR ツールとして活用する。

⑤ ハイキングツアーの実施

暫定ルートを活用し、トレイル上の 3 箇所で各 2 日間のハイキングイベントを実施した。実施日及び参加人数は以下の通り。

（ア）ツアー① 大熊町・富岡町・楢葉町

① 実施日：令和 4 年 12 月 10 日（土）～11 日（日）

② 参加人数：延べ 44 名

（イ）ツアー② 南相馬市

① 実施日：令和 4 年 12 月 17 日（土）～18 日（日）

② 参加人数：延べ 56 名

（ウ）ツアー③ いわき市

① 実施日：令和 4 年 12 月 22 日（木）～23 日（金）

② 参加人数：38 名

⑥ シンポジウムの開催

沿線上の地域の方へのトレイルについての認知拡大等を目的に以下の内容でシンポジウムを実施した。

（ア）日時：令和 5 年 1 月 22 日（日）13:30～16:30

（イ）会場：双葉町産業交流センター2 階大会議室

（ウ）参加人数：89 名

（エ）プログラム

① 第一部

1. 事業の経緯と名称・ロゴの紹介　いわき市観光振興課 西山敦氏
2. ロングトレイル概要と決定ルートの紹介
   一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所 長谷川晋氏
3. 市町村紹介マイクリレー　13 市町村担当者

4.　ふくしま浜街道トレイルを歩いて　写真家 中島悠二氏

5.　ふくしま浜街道トレイルの意義　宮城大学教授　小沢晴司氏

②　第二部

1.　今、浜通りを歩くということ。(基調講演)

NPO 法人福島ダイアログ 理事長 安東量子氏

2.　クロストークセッション

(ア)パネル

①　NPO 法人福島ダイアログ 理事長 安東量子氏

②　NPO 法人中之作プロジェクト 豊田善幸氏

③　一般社団法人 HAMADOORI13　佐藤亜紀氏

④　一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所 長谷川晋氏

(イ)進行：NPO 法人みちのくトレイルクラブ 相澤久美

キックオフミーティング(相馬市千客万来館)

ふくしま浜街道トレイルロゴ

ハイキングツアー①(楢葉町kashiwaya)

ハイキングツアー②(南相馬市鹿島区)

ハイキングツアー③(いわき市小名浜)

シンポジウム(トークセッション)

<table>
<tr><td colspan="6">考察、及び今後の展開</td></tr>
<tr><td colspan="6">ふくしま浜街道トレイルは令和 5 年度秋の全線開通に向けて事業が進められており、今後は路体の管理者からの許認可の取得や道標の設置、運営計画の策定等、開通に必要な業務を実施する必要がある。また、現状情報発信等を担う運営団体がいないため、令和 5 年度も全線開通に向けた各種業務並びに開通後の運用支援等を実施し、みちのく潮風トレイルと併せて歩ける状態を維持できるよう引き続き協力していきたい。</td></tr>
<tr><td>事業費
（受託金額）</td><td>4,443,286 円</td><td>経費
（人件費含む）</td><td>4,606,021 円</td><td>売上</td><td>−162,735 円</td></tr>
</table>

事業種別	(1.3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業番号	(1.3)-2
事業名 業務名	名取市受託事業「令和４年度　観察会業務」		
期間	令和４年４月１日～令和５年３月 31 日		
委託元	名取市		
関係団体	宮城植物の会、日本野鳥の会宮城県支部		
担当者	業務主任：西澤美幸、松川亮太　　業務補佐：柳田真澄		

実施内容

【事業概要】

自然観察会を令和４年４月 23 日に名取市高舘山で開催し、野鳥観察会を令和５年１月 28 日に名取トレイルセンターから名取川河口までを歩きながら実施した。多くの名取市民に参加していただき、歩く楽しみと名取市の自然の豊かさ・大切さを知っていただくことができた。

【目的】

名取市の自然の中を歩き、自然への親しみを持つとともに、地域の植物や野鳥と身近にふれあい、その観察・学習を通して、名取市の環境保全推進を名取市民に広く周知することを目的に、名取市からの委託を受けて事業を実施した。

【実施内容】

①　自然観察会の開催

開催日：令和４年４月 23 日（土）

講　師：宮城植物の会　杉山　氏、菅野　氏

参加者数：21 名（体調不良のため１名が当日キャンセル）

②　野鳥観察会の開催

開催日：令和5年１月 28 日（土）

講　師：日本野鳥の会宮城県支部　佐竹　氏、小林　氏

参加者数：13 名

自然観察会の様子①

自然観察会の様子②

<table>
<tr><td>
野鳥観察会の様子(1)</td><td>
野鳥観察会の様子(2)</td></tr>
<tr><td colspan="2">考察、及び今後の展開
本事業は令和 2 年度から名取市の委託を受けて実施している。自然観察会は、当法人が受託して開催することになってから初めて春に開催し、カタクリやエンレイソウなど春に咲く花を観察することができた。参加者からは、たくさんの花が咲いている様子や植物が新芽を出す様子を観察できて好評だった。野鳥観察会については、実施時期が渡り鳥を多く見られる冬期で、今年は特に前日の降雪と当日は冷たい海風が強く吹き、参加者には小学校低学年の児童もいて大変寒そうにしていたが、多くの種類の野鳥を見ることができ、また、講師の方からの説明が分かりやすくとても満足した様子だった。
来年度は、荒天時の予定についても広報チラシに追記する工夫が必要だと思う。</td></tr>
</table>

事業費	565,070 円	経費 (人件費含む)	546,271 円	売上	18,799 円

事業種別	(1.3)トレイルや周辺の自然環境を活用した企画・実施事業	事業番号	(1.3)-3
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル数珠つなぎハイキング		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会		
関係団体			
担当者	業務主任: 板谷学　　業務補佐: 森恭平		

実施内容

（事業概要）

名取トレイルセンターはサテライト施設として宮城県東松島市～福島県相馬市までの 11 市町（約 170km）を管轄している。名取トレイルセンター管轄区間のルートをハイカーが 1 日に歩く距離に近い 20km 程度のコースに分割した上で、全 10 回で歩き切るハイキングイベントを企画・実施した。

【目的】

ロングトレイルの魅力の一つがその長さにある。1 日がかりのハイキングイベントを設定することで参加者に長く歩く楽しみを感じていただくと共に、名取トレイルセンター管轄区間を歩き切る達成感を味わっていただき、石巻市以北のトレイルを歩くきっかけにしていただくことを目的として実施した。また、つないで歩くイベントであることからリピーターが生まれやすく、職員と言葉を交わす機会が増すことで、みちのく潮風トレイルの理念についてよりよく理解していただき、みちのく潮風トレイルのファンになっていただくことも目的のひとつとして実施した。

【実施内容】

令和3年度からスタートしたハイキングイベントだが、新型コロナウィルス感染拡大、トンガ海底火山噴火の影響により度々延期せざるを得ない状況により、令和4年度には亘理町より続きのセクションを 6 回にわたり開催した。

① 令和4年4月29日（日）亘理駅～岩沼駅（参加者:10 名）
② 令和4年5月29日（日）岩沼駅～名取トレイルセンター（参加者:10 名）
③ 令和4年6月26日（日）名取トレイルセンター～中野栄駅（参加者:7 名）
④ 令和4年9月25日（日）中野栄駅～本塩釜駅（参加者:9 名）
⑤ 令和4年10月29日（日）マリンゲート塩釜～野蒜駅（参加者:13 名）
⑥ 令和4年11月20日（日）野蒜駅～石巻あゆみ野駅（参加者:8 名）

ハイキングの様子

考察、及び今後の展開

イベントの目的のとおり、複数回参加してくださる方も多く、数珠つなぎハイキング終了後も自ら石巻市以北を続けて歩きたいという参加者も出てきた。また、このイベントを通じて、みちのく潮風トレイルファンになり、様々なイベントに積極的に参加される方も見受けられた。一方、新規参加者が少ないという現状もあることから、令和 5 年度は初心者向けに距離を短くしたイベントを企画し、みちのく潮風トレイルを歩くきっかけになるハイキングイベントの企画を今後も継続していく。

事業費	名取市負担金に含む	経費（人件費含む）	名取市負担金に含む	売上	名取市負担金に含む

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-1
事業名 業務名	ガイドブックの作成		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元			
関係団体	一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所 株式会社フリックスタジオ		
担当者	業務主任:相澤久美　業務補佐:森恭平		

実施内容

【事業概要】

みちのく潮風トレイル全線の多様な文化・歴史・植生等を紹介したガイドブック作成に向けて、構成員への地域のインタビュー候補者の調査並びに、トレイル本線を逸れて地域の魅力を深堀りすることができる深堀りルートの確認、編集者との現地視察を行った。

【目的】

過去に製作した Hiking Map Book 及び Data Book により、歩き旅の計画が立てやすくなっているが、みちのく潮風トレイルは三陸海岸の多様な文化・歴史・植生等を堪能できるロングトレイルであり、ただ歩くだけでは地域の魅力を深堀りすることは難しい。トレイル沿線地域の様々な魅力や歩き方の一例を紹介したガイドブックを作成することで、ハイカーが地域の魅力を発見する一助とすることを目的とする。

【実施内容】

① 台割の作成

一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所専務理事であり、海外のトレイルに造詣が深い勝俣隆氏にご協力いただき、各ページに掲載内容を割り振った台割を作成した。

② インタビュー候補者・深堀ルート案の確認

掲載内容を作成する上で、地域の魅力についてお話いただける方を構成員に確認した。また、歩くことで各地域の魅力を更に深堀りすることができる「深堀りルート」について、市町村内で案をお持ちがどうかについても併せて確認した。

③ 現地視察

ガイドブックの編集を依頼している株式会社フリックスタジオ高木伸哉氏と、一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所勝俣隆氏とともに、以下の日程でトレイル全線の現地視察と地域事情に詳しい方へのヒアリングを行った。

(ア) 令和 4 年 10 月 25 日(火):八戸市～岩泉町

ヒアリング先:北奥羽自然史研究所　高橋晃氏

久慈広域観光協議会　貫牛利一氏

(イ) 令和 4 年 10 月 26 日(水):宮古市～女川町

ヒアリング先:異人館　阿部主税氏

釜石市芸術文化協会会長　河東眞澄氏

潮目　片山和一良氏

（ウ）令和 4 年 10 月 27 日（木）：石巻市～相馬市

ヒアリング先：NPO 法人亘理山元まちおこし振興会　千石信夫

ヒアリングの様子（潮目　片山和一郎）

考察、及び今後の展開

みちのく潮風トレイルは 4 県 29 市町村にまたがる広域なトレイルであることから、ヒアリング先も多岐に渡り、掲載内容の検討や原稿執筆も一筋縄では行かないが、令和 5 年度中の発行に向けて、構成員の協力で収集した候補者の方から丁寧にお話を聞きつつ事業を進めたい。次年度は補助金を獲得して事業を進める。

事業費	0 円 予定補助金 未獲得	経費 （人件費含む）	193,447 円	売上	−193,447 円

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-2
事業名	ハイキング相談会		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会		
関係団体			
担当者	業務主任:板谷学　業務補佐: 柳田真澄		

実施内容

【事業概要】

みちのく潮風トレイルをこれから歩きたいと思っている方、既に歩き始めている方、興味を持っている方、すべての方を対象にした事前予約制のハイキング相談会を開催した。

【目的】

ハイキングの計画の立て方、装備についての問い合わせが多く、より具体的に掘り下げた内容でご相談が出来るように、ハイキングの個別相談会を開催した。丁寧な説明を心がけることで、一人でもトレイル、ハイキングのファンを増やし、東北にその文化を根付かせることを目的としている。遠方のハイカーにも対応するため、オンラインとセンターいずれでも対応可能とした。

【実施内容】

メールや電話等で申し込みを受け付け、スルーハイク経験のあるスタッフ(主担当:板谷)が1回あたり 45 分間、事前にヒアリングした相談内容に沿って利用者に役立つ情報等をお伝えした。

また、毎月第一日曜日を合同相談会とし、スタッフ、ハイカー同士とでお互いに情報を交換しあいながら、ハイカー同士の交流の場を作る試みを 2 月から開始。2月5日に2名の参加があった。

考察、及び今後の展開

今後ハイカーの数が増加するにつれ、歩き方や計画に関する問い合わせも増え、このように経験豊富なスタッフが丁寧に話を聞く個別相談会はトレイルセンターらしさがあり、ハイカーに喜んでいただける事業であろうと考える。しかしながら、センタースタッフの誰もがハイカーからの基本的な質問に答えられるよう、スタッフ間で最新の情報を共有すること等も大切で、引き続きハイカーに向けた分かり易い情報発信を行うことが重要であると考える。これら双方を大事にしながら今後もハイカーの相談に丁寧に向き合いたい。

事業費(受託金額)	名取市負担金に含む	経費(人件費含む)	名取市負担金に含む	売上	名取市負担金に含む

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-3
事業名 業務名	名取トレイルセンター館内イベント		
期間	令和4年４月１日～令和５年３月 31 日		
委託元	自主事業、みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会		
関係団体			
担当者	業務主任:板橋真美　業務補佐:晴山功、森恭平		

実施内容

（事業概要）

名取トレイルセンター館内で各種イベントを開催した。

【目的】

みちのく潮風トレイルやハイキング文化に馴染みが薄い方には最初のきっかけとして、みちのく潮風トレイルを既に歩いた方には共感やさらに深い繋がりを得てもらえるよう、名取トレイルセンター館内で写真展やハイカーによるトークイベントを開催した。ハイキング中に役立つ地図読み講座、ハイキング中の宿泊道具として用いられるツェルトの設営方法、日頃のボディケアや不意の怪我に対する応急処置方法（ファーストエイド）など、ハイキングに役立つ知識を身に付けていただく内容の講習も開催した。

【実施内容】

①岩間　幸司　写真展「みちのく3740　～やって来る峠、遠ざかる港～」

（1）開催期間:令和４年４月１日～令和５年３月 31 日

＜岩間　幸司氏プロフィール＞

岩手県釜石市生まれ。

大学時代にのべ３年、アジア、中近東、アフリカを放浪。新田健二写真事務所アシスタントを経て 90 年フリーランスに。活動の拠点をパリに移し、95 年帰国。MCT のプロモート写真の撮影をきっかけに MCT に魅せられる。

2021 年に SOBO で 47 日間掛けて MCT をスルーハイク。

②応急救急方法講座 「知っておきたいケガの知識～野外で活動する人に向けて～」

専門の知識を有する講師による、怪我をしないための体つくりや長く歩くハイキング中に思わぬ怪我に見舞われた場合のテーピングなどの対処法について講座を行った。

開催日:令和４年５月 15 日　参加者:８名
令和４年７月 16 日　参加者:２名
令和４年９月 11 日　参加者:３名
令和４年 11 月 19 日　参加者:８名
令和５年１月 15 日　参加者:10 名
令和５年３月 18 日　参加者:４名

講　師:本間　一宇氏（応援会員／メディック・ファーストエイド（MFA）インストラクター）

③地図読み講座「地図を読んで道を楽しむ」

日本山岳ガイド協会　登山ガイドステージⅢの資格を持つ渡邉自然保護官に講師に、TRAIL DAYSの企画で開催し好評だった地図読み講座の応用編として、コンパスを活用した現在地や目的地を把握するためのナビゲーションについて机上演習の形式で講座を行った。1回目は6月のTRAIL DAYSの企画として実施したが、好評であったため2回目を単独のイベントとして開催した。

開催日：令和5年2月18日

講　師：渡邉　元嗣氏（東北地方環境事務所　名取自然保護官事務所　自然保護官）

参加者：17名

④ツェルトの張り方体験会

かつては緊急時や非常時に使用するものとして理解されていたツェルトだが、現在は様々な改良によってウルトラライトハイキングを実践するハイカーに軽量なシェルター（宿泊道具）として積極的に使用されるようになってきた。まだまだ一般的に普及されていないツェルトの設営方法を知っていただくために設営体験会を開催した。

開催日：令和5年2月18日

インストラクター：渡邉　元嗣氏（名取自然保護官事務所　自然保護官）

板谷　学、柳田　真澄（みちのくトレイルクラブ職員）

参加者：11名

⑤ハイカートークイベント「Pacific Crest Trail 」～みちのくトレイルクラブ板谷編～

アメリカ合衆国西海岸、メキシコとカナダの間にある4,265kmにおよぶロングディスタンストレイル「パシフィック・クレスト・トレイル（Pacific Crest Trail）」を2020年の春から秋にかけて歩いてきた板谷センター長によるトークイベントを開催。PCTでの半年間におよぶトレイルライフについて、すでにMCTを歩いているハイカーやこれからロングディスタンスハイキングを楽しもうと考えている参加者へ当時の写真を交えながらその魅力について伝えた。

開催日：令和5年3月19日

登壇者：板谷　学（名取トレイルセンター　センター長）

参加者：40名

① 写真展展示の様子

② 応急処置方法講座の様子

③ 地図読み講座の様子

④ ツェルトの張り方体験会の様子

⑤ ハイカートークの様子

考察、及び今後の展開

昨年度同様、MCT 沿線以外からの参加者や、ハイカー以外の参加者もおり、みちのく潮風トレイルやハイキング文化に触れていただく良い機会であったと思う。

体験型イベント(講座や体験会)の参加者からは、「インターネットなどによる情報だけでは分からない点も、体験することでより理解が深まった。分かりやすかった。との意見が多かった。また、ハイカー自身が安心・安全に歩くための知識の習得に興味があると思われた。

来年度も体験型のイベントも取り入れながらハイキングの魅力の発信と、ハイキング時に役立つ知識を広める活動を行っていきたい。

事業費	45,500 円	経費（人件費含む）	75,284 円	売上	−29,784 円

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-4
事業名	広報に関わる取り組み:ホームページ、フェイスブックの運用		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元			
関係団体			
担当者	業務主任:相澤久美　主担当:森恭平 更新:全職員		

実施内容

【事業概要】

MCT 運営計画構成員等から寄せられる各種情報の更新(環境省業務)の他、各種イベント情報、ハイキングに関する啓発、文化情報発信等をホームページ及びフェイスブックを通して行なった。ハイカーの旅をサポートしてくれる沿線施設(サポーターズ)やハイキングパスポートの情報掲載や、フォトギャラリーのページではフォトコンテストを行い、ハイカーからの写真を募り、それらの写真を活用してオリジナルカレンダーの制作にも取り組んだ。その他、全線踏破挑戦者・踏破者登録、会員募集、寄付募集、野営場の情報など各種実施した。閲覧数の分析を行い、検索キーワードの上位を確認し、ブログ記事に反映させる等、より多くにみていただけるよう SEO 対策も実施した。外国人からの問い合わせが増えてきているため、英語サイトを開設した。

【目的】

みちのく潮風トレイルを歩く方々に必要な情報を提供し、ハイカーに安心安全に歩いていただくことを第一の目的としている。また、地域の方々の取り組みを紹介するページや、フォトギャラリー、挑戦者登録など利用者が参加できるページも設け、更新頻度の高い双方向の運営を心がけた。皆で育てる道であることを発信する場とすること、みちのく潮風トレイル憲章を紹介し、みちのく潮風トレイルの存在意義についても伝えるサイトとしてある。

【実施内容】

①トレイルに通行に係る注意情報や臨時情報の発信
②みちのくトレイルクラブが関わるイベントや商品の告知や報告
③みちのく潮風トレイルを取り扱ったメディア等の紹介
④名取トレイルセンターを訪れたハイカーの紹介
⑤フォトギャラリーの運営
⑥全線踏破挑戦者登録、全線踏破者登録の実施
⑦会員の募集、寄付の募集
⑧英語サイトの開設
⑨モデルコースの追加
⑩各種不具合等の改修

みちのく潮風トレイルについて

About the Michinoku Coastal Trail

最新情報

News

トレイルを歩く上で有益な最新情報をご覧いただけます。ハイキングの計画を立てる際は情報収集が欠かせません。歩く前にぜひ一度ご確認ください。

全て　注意情報　お知らせ　イベント情報

エリアを選択する　Choose area

- 注意情報　2023/05/28　大槌町 Otsuchi　大槌町（大石橋周辺）歩行時の注意箇所
- 注意情報　2023/05/17　宮古市 Miyako　宮古市（曽根奥港付近）の迂回路
- 注意情報　2023/05/16　石巻市 Ishinomaki　石巻市でのカラス駆除について
- 注意情報　2023/05/01　石巻市 Ishinomaki　石巻市でのシカ駆除について
- 注意情報　2023/04/26　トレイル全域 The Entire Trail　トレイル上の注意すべき動植物について
- 注意情報　2023/04/18　石巻市 Ishinomaki　石巻市（旧牡鹿地区）の迂回路
- 注意情報　2023/03/31　女川町 Onagawa　女川町のシカ駆除について

注意情報（日本語サイト）

News

See the most important, up to date information for those hiking the MCT. Make sure to check this page before your hike!

All　Alerts　News

- Alerts　2023/05/28　Otsuchi　Otsuchi-cho (Oishi Bridge area) Points of caution when walking
- Alerts　2023/05/17　Miyako　Detour route in Miyako City (near Otobe Fishing Port)
- Alerts　2023/05/16　Crow Extermination in Ishinomaki
- Alerts　2023/05/02　Ishinomaki　Deer hunting in Ishinomaki
- Alerts　2023/04/18　Ishinomaki　Detour in Ishinomaki (Ogatsu area)
- Alerts　2023/03/31　Onagawa　Deer hunting in Onagawa
- Alerts　2023/03/31　Yamada　Detour in Yamada (Rikuchu-Yamada Station to Yamada Junior High School)

注意情報（英語サイト）

フォトコンテスト

Photo Contest

皆さまが撮影したみちのく潮風トレイルにまつわるお写真をお寄せください！
フォトギャラリーページにて皆さまにお寄せいただいたお写真を公開させていただきますので、このページを見ながら、みちのく潮風トレイルに思いを馳せていただけますと幸いです。

また、年に1度、事務局スタッフで写真を選定させていただき、カレンダーを作成いたします。
カレンダーはみちのくトレイルクラブの会員の皆さまや、選ばれた写真の撮影者の方にプレゼントさせていただきます。皆さま奮ってご応募ください。

ギャラリーページへ

応募フォーム

画像　ファイルの選択　ファイルが選択されていません

撮影月　1月

フォトコンテスト

ブログ／コラム

Blog/Column

- 危険生物について「ツキノワグマ編」　2023/04/02 | ハイキングTips
- 気仙沼市「お洒スポーツ」ネックウェア売上からご寄付いただきました　2023/03/28 | 寄付金報告
- トレイル野田村みどころマップ　2023/01/31 | 地元マップ
- 「ふくしま浜街道トレイル」慰霊のモニターツアー只禁　第一弾・大熊町～富岡町～楢葉町を歩く　2022/12/22 | イベントレポート
- みちのく潮風トレイルハイカーズボイス No.3　2022/10/01 | MCTハイカーズボイス
- 「名取トレイルセンターTrail Days」開催報告　2022/07/18 | イベントレポート
- 名取トレイルセンター　根岸イベント開催報告　2022/07/14 | イベントレポート
- みちのく潮風トレイルにお寄せいただいた寄付金のご報告（2021年度）　2022/06/29 | 寄付金報告

Category　カテゴリー

- MCTハイカーズボイス (3)
- 地元マップ (4)
- みちのくトレイルクラブより (4)
- イベントレポート (15)
- ハイキングTips (2)
- 施設紹介 (1)
- 地域での取組 (1)
- 寄付金報告 (2)
- 過去のメールニュース (1)

Popular　注目の記事

- 施設紹介　みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター根岸館について　2022/02/28 | みちのくトレイルクラブ
- 過去のメールニュース　メールニュース 2019.12　2019/12/26 | みちのくトレイルクラブ
- みちのくトレイルクラブより　加藤三弥選手スタート！～兄の想いと共に～　2021/09/01 | みちのくトレイルクラブ
- 地元マップ　トレイル野田村みどころマップ　2021/01/31 | みちのくトレイルクラブ
- MCTハイカーズボイス　みちのく潮風トレイルハイカーズボイス No.2　2021/09/04 | みちのくトレイルクラブ

Archive　アーカイブ

- 2023年4月 (1)

ブログ／コラム

全線踏破者（2023/3/31 現在　97 名）

（1）居住地×踏破年度

		2019	2020	2021	2022
北海道		0	0	0	0
東北		0	9	17	22
	青森県	0	0	1	3
	岩手県	0	1	6	8
	秋田県	0	1	0	0
	宮城県	0	7	8	10
	山形県	0	0	1	1
	福島県	0	0	1	0
関東		10	3	9	9
中部		0	0	3	1
近畿		2	1	2	2
中国		0	1	0	0
四国		0	0	2	0
九州沖縄		1	0	1	0
海外		2	0	0	0
合計		15	14	34	34

（2）かかった日数×踏破年度

	2019	2020	2021	2022
～60日	2	6	8	6
～90日	4	1	3	1
～180日	1	1	1	2
～1年	1	2	9	2
～2年	0	3	3	12
～3年	0	0	1	4
～4年	2	0	3	1
～5年	5	0	3	1
～6年	0	1	2	2
～7年	0	0	0	0
～8年	0	0	0	1
～9年	0	0	0	2
～10年	0	0	0	0
10年超	0	0	0	0
不明	0	0	1	0
合計	15	14	34	34

（3）歩き方×踏破年度

	2019	2020	2021	2022
南に向かって	8	10	16	18
北に向かって	5	2	10	11
それ以外のルート	2	2	8	5
未定	0	0	0	0
合計	15	14	34	34

全線踏破挑戦者（2023/3/31 現在　193 名）

（1）居住地

北海道		4
東北		127
	青森県	9
	岩手県	23
	秋田県	4
	宮城県	71
	山形県	5
	福島県	15
関東		50
中部		6
近畿		2
中国		0
四国		0
九州沖縄		1
海外		3
合計		193

（2）歩き方

南に向かって	68
北に向かって	77
それ以外のルート	39
未定	9
合計	193

HP、SNS 上のハイカーの声（抜粋）

◆Instagram から（@洋野）
もっと歩きたいと欲が出ますねｗ 時間みつけて歩かねば❗ 洋野町のはまなす亭は、前までは食堂だけでしたが 11 月からゲストハウスを OPEN♪ キレイで居心地よくておススメよ😊

◆Instagram から（@八戸～階上/仙台～名取）
※フォロワー10,000 人の Youtuber、Instagrammer）
◇みちのく潮風トレイルのロングバージョンの映像を YouTube に公開しました。よろしければお時間のある時にゆるゆるとご覧いただけると嬉しいです！
今回歩いたのは八戸市と階上町(階上岳)、名取トレイルセンターから地下鉄荒井駅までです。
東北の知らなかった魅力がぎゅっと詰まっているトレイルなのでまた自然と歩きたくなります。

◇みちのく潮風トレイルのトレイルヘッドでありエンドポイントの蕪島(かぶしま)。
やっぱりロングトレイルの起点に立つとワクワクしちゃいますね。
初日に種差海岸に向かう途中に電車からも見れて、夕陽を浴びた蕪島だけジブリの世界のような雰囲気でした。そして人の数より多い想像を超えたウミネコの数にびっくりしました。笑
菜の花のコントラストがとても綺麗でした🌼 青森は小さい頃に訪れたねぶた祭りの印象が強かったですが、まだまだ知らない魅力がたくさん詰まってそうです。

◆Instagram から（@石巻）
真っ赤な朝焼け、絶品唐揚げ弁当のこっこ屋さん、歩きごたえのある尾ノ崎峠、荒浜海水浴場、大須崎灯台。1 日でまわるにはなかなかハードだったが、雄勝半島のいろいろな顔をみることができ、満足度の高いトレイル歩きだった。

◆Instagram から（@普代村、田野畑村）
怪我なく歩き切れたのは、道が丁寧に整備されていたおかげです。改めてトレイルを大切に育てられている田野畑村、普代村の皆さまに感謝です。
また、普代村では「男前の兄貴エンジェル」に大変良くしていただきました。

◆Instagram から（@田野畑から岩泉）
ほんとにたまたま仕事で東北行く機会があったので、ここぞとばかりに土日くっつけて 20km くらい？のゆるハイク。イメージ通りの海岸沿いを歩くセクションもあれば、しっかり登山口もあるおもろい道でした。（といっても歩いたのはトレイル全体の 2%ぐらい？）
この区間だけで地元のおじちゃん、おばちゃん4，5 人に声掛けられたのは新鮮でした。また、タイミングを見つけて、1 週間くらいのセクションハイクをしたい。

◆Instagram から(@八戸)※全線踏破者
本日、エンドポイントの蕪島に辿り着きました。
良いお天気に恵まれ、最高のハイクでした。改めて、みちのく潮風トレイル最高です♪
1,000 kmを超える長い道のりでしたが、怪我なく楽しい 1 年半(歩いたのは合計で 60 日弱)を歩ききることができました。
歩くきっかけをくださった大恩人、歩く背中を押し続けてくれる毎朝お会いする大先輩、同じ視座になってアドバイスくれる無口っぽく見えて話すと楽しすぎる世界的ハイカー、先回りしてサプライズ仕掛けてくる一見クールっぽい先輩ハイカー、いつも笑顔で話を引き出してくださる大先輩ハイカー、歩く楽しさを常に気付かせてくれる自分でトレイルをつくろうとしている先輩ハイカー、魅力的なみちを子供達とつくり続けているトレイルエンジェル、ハイカー一人一人を真剣に迎えてくださる伝説のトレイルエンジェル、近くに行ったら駆けつけてくれたセクションハイクの大先生、道すがら突然話しかけてくださった激アツトレイルエンジェル、男前すぎる底なしのおもてなしに惚れてしまうやろ森づくりエンジェル、トレイルを一緒に大切に育てているグリーンメンバーの皆さん、このみちの道標・聖地であり続けてくれる美味しい以上の魅力があるお店の皆さん、このみちを大切に育て守ってくださっている皆さん、いつも優しくサポートしてくださるトレイルセンター・トレイルクラブの皆さん、みちでお会いした素敵すぎる笑顔のハイカーの皆さん、(他にも書ききれない程お世話になった皆さんがおられます)には本当に感謝申し上げます。
数珠繋ぎでのセクションハイクは一旦終わりますが、歩きたい季節×みち、一緒に歩きたい方々×みち、何度でも歩きたいみち、守りたいみち、がありますので、今後も目一杯楽しんでいこうと思います。

◆Facebook から(@相馬)
先日、碁石海岸インフォメーションセンターに伺った際に「一度トレイルヘッド、エンドポイントに行くと良い」と聞き、この年末年始で帰省していた三重から一関への帰り道に行ってみました。
私は、広田湾コースから歩きだしているので、どちらのポイントにも行ったことがなく、「始まりと終わり」がわからないまま歩いているなと。楽しみ方は自由ですけど、今更ながら自分の目で見て、ここにたどり着きたい、と強く思いました。あと何年の単身赴任生活かわかりませんが(単身生活2年目です)一関にいる間に、全線踏破したいですね。

◆Facebook から(@八戸) ※全線踏破者
12月11日、相馬から出発して八戸に到着しました。53日を要しました。途中、多くの皆様に励ましをいただきました。ありがとうございました。また、トレイル関係者の皆様、コースの整備、本当にご苦労様でした、おかげで、楽しく歩くことができました。すれ違ったハイカーの皆さん、今も歩き続けている皆さん、これからも安全と健康に留意して、それぞれの目標が達成されますよう心よりお祈りいたします。

◆Facebook から（@大槌）
城山公園に登りました。ここからは大槌町が見渡せます。海側は巨大な防潮堤が築かれ、建物少なく空き地が広がっています。散策に来られた地元のご夫婦にあいさつをしたら、みちのく潮風トレイルのことご存じでした。町の今昔を、東日本大震災大津波の時の状況を話してくださいました。そして過去の津波経験から防潮堤もあるから大丈夫と言う親御さんを引っ張って家族で逃げ命が助かったけど、近親の方たちが逃げ遅れて遺体も見つかっていないと話されました。
お土産を買うために寄った大槌駅近くのお店のご主人も私たちが遠方からの旅人と分かられて、当時の町の様子や復旧の取り組み、そして地震があれば必要な物を車に積んですぐに逃げるようにしていると話されました。ありがとうございました。

◆ハイキングパスポート利用者の声
名取市在住のご夫婦ハイカー
（2021 年 5 月 29 日～2022 年 10 月 1 日の期間に、セクションでスルーハイク）
（前略）ハイキングパスポートをきっかけに地域の方と話をすると、「来てくれて嬉しい」と言われることがあって、こちらも嬉しくなります。中には、「ハイカーさんがお腹を空かせて来ると思って」と注文したメニュー以外に一品サービスで付けてくださった優しい食堂の方もいらっしゃいました。パスポートの良いところは、今まで知らなかった施設や、旅行者にはハードルが高いんじゃないかと思えたりするようなお店にも、ハイカーウェルカムだと思うと入っていきやすくなるところだと思います。
また、スタンプポイントではありませんが、岩手県には夫婦ですごく気に入ってトレイルのたびに数えきれないほど通っているハンバーガー屋さんがあります。ハイカーの夫婦ということで、顔を覚えていただけました。こういった方々にみちのく潮風トレイルを歩かなければ出会えなかったというところも面白いですし、自分の旅に地域の方が参加してくださることで、思い出がより深くなると思います。
（中略）偶然の出会いができなかった時ほど、こういった場を設けてもらえることで、出会いのきっかけが生まれるので、スタンプを置いてくださる場所が増えると嬉しいです。
スタンプを集めてピンバッジを購入できることももちろん楽しみの一つではありますが、それが一番の目的ではなく、歩き旅の中に交流が生まれるきっかけとしてこれからもこのハイキングパスポートを楽しんで使っていきたいと思います。

<table>
<tr><td colspan="6">考察、及び今後の展開</td></tr>
<tr><td colspan="6">みちのく潮風トレイルの最新情報は、運営計画で定められる通り、臨機応変かつ迅速に必要な情報を公開できるよう、当法人のサイト上で発信されている。一方で、環境省が最初に解説したみちのく潮風トレイルの公式サイトもあり、「みちのく潮風トレイル」を検索した際には環境省サイトが最上位の検索結果として上がってくる。当法人のサイトに直接アクセスする利用者も増えてはいるが、改善されるべき点として引き続き環境省と協議していく。 また、今年度は英語サイトを開設した。これから増加すると思われる外国人ハイカーに向けて、注意情報だけではなく日本語サイト同様、総合的な情報を届けられるようにしたい。</td></tr>
<tr><td>事業費
（受託金額）</td><td>(1.2)-1 に含む</td><td>経費
（人件費含む）</td><td>(1.2)-1 に含む</td><td>売上</td><td>(1.2)-1 に含む</td></tr>
</table>

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-5
事業名 業務名	広報に関わる取り組み:インスタグラムにおけるトレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元			
関係団体			
関係団体	業務主任:板橋真美　主担当:石井宏之　補佐:柳田真澄		

実施内容

【事業概要】

インスタグラムにおける情報発信。みちのく潮風トレイルを歩くことで感じられる自然や文化を中心に、ハイキングイベントの告知や名取トレイルセンターを訪れたハイカーの紹介、ルート変更や鹿撃ちなどがあった際の注意情報などを投稿した。また、今年度はユーザーが「#みちのく潮風トレイル」と#(ハッシュタグ)をつけて投稿したものをみちのくトレイルクラブのアカウントでシェアしたり、2023 年度のみちのく潮風カレンダーに使用する写真をインスタグラムで募集したりするなどして、ユーザーとの双方向的なコミュニケーションを図るよう心掛けた。加えて、TRAIL GATE というハイキングギアを販売するショップ専用のアカウントも立ち上げ、販売促進を図った。

【目的】

みちのく潮風トレイルをより多くの人に知ってもらうことを目的としている。インスタグラムのフォロワーはフェイスブックよりも平均年齢で 10 歳以上若いので、若い人に情報を届ける重要な取り組みである。また、自然災害や道路工事などでルート変更があった際に、迅速に利用者に周知するための手段としても有効に機能させるため実施した。TRAIL GATE 専用のアカウントは、「軽いって自由」をコンセプトとするウルトライトの考え方を広めていきたい。

【実施内容】

① 定期投稿…毎週火曜日に一枚のペースで、歩いている時に見える景色等を中心に投稿
② みちのくトレイルクラブが関わるイベントの告知や報告
③ みちのく潮風トレイルを取り扱ったメディア等の紹介
④ 名取トレイルセンターを訪れたハイカーの紹介
⑤ 注意情報や臨時情報の投稿
⑥ TRAIL GATE の商品紹介やハイキング文化の紹介

① 定期投稿

② イベントの告知や報告

<table>
<tr>
<td>

③ メディア等の紹介</td>
<td>

④ ハイカーの紹介</td>
</tr>
<tr>
<td>

⑤ 注意情報</td>
<td>

⑥ TRAIL GATE の商品紹介</td>
</tr>
</table>

考察、及び今後の展開

この一年で約 550 人フォロワーが増加した。昨年度と比較すると 1.5 倍以上の増加率であった。要因としては継続的な更新に加え、企画や#を利用して、ユーザーとより積極的なコミュニケーションを図れたことが挙げられる。今後とも引き続き実施していきたい。また、今年度新たに作った TRAIL GATE のアカウントでは、ハイキングギアの紹介とともに、より自然とマッチしたウルトラライトの考え方などを紹介して、ハイキング文化の向上に努めていきたい。

事業費	(1.2)-1 に含む	経費 （人件費含む）	(1.2)-1 に含む	売上	(1.2)-1 に含む

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-6
事業名	おでかけみちこ		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元			
関係団体	三陸ジオパーク推進協議会、川口印刷		
担当者	業務主任:相澤久美　業務補佐: 板橋真美、坂本麻由子(NPO 会員)		

実施内容

【事業概要】

東北 7 県のみちの駅を中心に毎号 10 万部発行されるフリーペーパー、『おでかけ・みちこ』に、みちのく潮風トレイルの情報を掲載し、みちのく潮風トレイルの周知に取り組んだ。

【目的】

三陸自動車道が完成し、沿岸部への人の流れが変わっている。これまで沿岸部の国道 45 号を通り、国道沿いの各種施設を利用していた自動車ユーザーは目的地から目的地に短時間で到達できる高速道路を利用するようになり、沿岸部施設への立ち寄り件数が減っている。

本取り組みでは、そのような自動車で移動する人々に、車で沿岸部に来てもらうため、一部トレイルを歩き、八戸線や三陸鉄道を利用しスタート地点に戻る、というトレイルの楽しみ方を提供した。車で沿岸部に訪れる機会を設け、トレイルを歩くことで長時間滞在を可能にし、沿岸地域経済の振興を後押しすることが目的である。今年度は三陸ジオパーク推進協議会と協働した。

【実施内容】

4 月号、10 月号、1 月号の 3 号に掲載した。4 月号は昨年度からの継続でアクティブレンジャー日誌、7 月号は普代村エリア、10 月号は大槌町エリア、1 月号は陸前高田エリアを掲載した。

<table>
<tr><td colspan="6">考察、及び今後の展開</td></tr>
<tr><td colspan="6">今年度は三陸ジオパーク推進協議会と連携して紙面の作成に挑んだ。ライターの手配、ページ構成等を当法人が担当し、ジオパークはガイドの費用を負担した。紙面は毎号見開きを用意してもらったため、地図も掲載することができた。媒体からは、読者の感想も寄せられるため、その内容を精査し、次年度以降も東北7県への周知活動を続ける。
掲載料は毎号 5 万円を紙面代に、5 万円程度をライター、コーディネーターへの謝金、交通費に充てている。</td></tr>
<tr><td>事業費
（受託金額）</td><td>広報宣伝費に含む</td><td>経費
（人件費含む）</td><td>広報宣伝費に含む</td><td>売上</td><td>広報宣伝費に含む</td></tr>
</table>

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-7
事業名	講師登壇・招へい事業、メディア掲載等		
期間	令和３年４月１日～令和４年３月 31 日		
委託元			
関係団体			
担当者	業務主任:相澤久美　業務補佐:板橋真美、石井宏之		

実施内容

【事業概要】

各地で講師登壇の依頼受け入れ・招へい事業への参加を実施した。また、新聞、ラジオ、テレビ等への積極的なアプローチを行った。

【目的】

みちのく潮風トレイルを多くの方に知っていただき、歩きにきていただき、みちのく潮風トレイルの持続的運営につなげることを目的として各地で講演等を実施した。また、雑誌、テレビやラジオなどメディアを通してみちのく潮風トレイルの情報を発信した。

【実施内容】

みちのく潮風トレイルの周知・広報活動として、講演や取材対応(協力)を行った。

① 講演会等での発表、招へい事業等(10 回)

開催年月日	講演会名	講演内容	参加人数
令和４年４月 22 日	名取市図書館「ナイトライブラリー」	みちのく潮風トレイルを歩く	37 人
令和４年８月 28 日	はなもく七三会	つなげる、続ける、歩く ～みちのく潮風トレイルの魅力	10 人
令和４年９月１日	東松島市トレイル情報交換会	みちのく潮風トレイルについて	30 人
令和４年 10 月 29 日	三陸観光フォーラム	みちのく潮風トレイルについて	40 人
令和４年 11 月 16 日	損害保険ジャパン　クリエイティブ会議	みちのくに道をつくる	20 人
令和４年 11 月 28 日	令和４年度岩手県自然保護指導員 岩手県自然公園保護管理員研究会	みちのく潮風トレイルについて	40 人
令和５年２月３日	第 6 回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム４ 省庁連携セミナー	パネルディスカッション「これからの観光のあり方・サスティナブル・ツーリズの定着化と実現に向けた地域課題」	50 人
令和５年２月８日	2022 度青年研修（オンライン講座用録画）「(中央アジア)防災とまちづくり」	地域計画としてのロングトレイル	未定
令和５年２月 19 日	環境省：ロングトレイルの維持管理・運営システム構築に向けた考え方報告会	公開懇談会「ロング・ディスタンス・トレイルとハイキングの未来を考える」	150 人
令和５年３月 15 日	岩手県議ミーティング	みちのく潮風トレイルの現状と未来	80 人

②露出メディア一覧

1.新聞(27 件)

掲載年月日	掲載紙	タイトル
令和 4 年 4 月 2 日	河北新報	みちのく潮風トレイル　歩いて話してスタンプ収集
令和 4 年 4 月 7 日	河北新報	米西部　徒歩で縦断へ
令和 4 年 4 月 13 日	デーリー東北	観光案内、タペストリーが目印　洋野「みちのく潮風トレイル」
令和 4 年 4 月 17 日	河北新報	潮風トレイル　名取ルートの魅力満載
令和 4 年 4 月 21 日	河北新報	テント泊 自由さ魅力
令和 4 年 4 月 30 日	読売新聞	海岸沿い 歩いて楽しむ
令和 4 年 5 月 3 日	東海新報	陸前高田市ルート⑦米崎町和方ー小友町茗荷
令和 4 年 5 月 3 日	読売新聞	冒険潮風トレイル（1）碁石海岸周辺
令和 4 年 5 月 4 日	読売新聞	冒険潮風トレイル（2）普代駅～くろさき荘
令和 4 年 5 月 5 日	読売新聞	冒険潮風トレイル（3）北山崎～田野畑駅
令和 4 年 5 月 6 日	読売新聞	冒険潮風トレイル（4）道の駅たろう～浄土ヶ浜
令和 4 年 5 月 7 日	読売新聞	冒険潮風トレイル（5）トレイルクラブ事務局長に聞く
令和 4 年 5 月 16 日	河北新報	環境省ポスター3 種類作製 潮風トレイル色使い鮮やか
令和 4 年 5 月 25 日	石巻かほく	トレイル心地良く歩いて
令和 4 年 5 月 30 日	河北新報	閖上彩る花々堪能　名取で観察会
令和 4 年 5 月 30 日	読売新聞	海浜植物観察会　歩いて見て食す
令和 4 年 5 月 31 日	河北新報	千葉のルイスさん歩みながら発信
令和 4 年 7 月 18 日	河北新報	潮風トレイル 緑と共に　名取・閖上 拠点施設で植樹活動
令和 4 年 8 月 20 日	河北新報	みちのく潮風トレイル　全線開通 4 年
令和 4 年 11 月 3 日	河北新報	87 歳あっぱれ！全線踏破！
令和 4 年 11 月 10 日	河北新報	「トレイル活用観光の起爆剤」ヨルダン大使石巻で講演会
令和 4 年 11 月 29 日	河北新報	自然歩道維持に力（自然歩道関係功労者表彰）
令和 4 年 12 月 18 日	河北新報	トレイル投稿 励みに（板谷）
令和 5 年 1 月 7 日	河北新報	トレイル拠点環境相が視察
令和 5 年 1 月 10 日	河北新報	トレイル整備一歩一歩
令和 5 年 3 月 8 日	河北新報	板谷さん 3800 ㌔の挑戦語る　19 日名取でイベント
令和 5 年 3 月 17 日	河北新報	三陸鉄道活用　宮古・駅からのルートマップ　トレイル満喫

2.雑誌(7 件)

掲載年月日	掲載誌	タイトル
令和 4 年 6 月 11 日	伝承ロード縁　vol.3	東北太平洋沿岸を歩いて巡ろう みちのく潮風トレイル
令和 5 年 6 月 25 日	おでかけみちこ vol.41	みちのく潮風トレイルを歩きに行こう！（第 4 回）
令和 5 年 9 月 25 日	おでかけみちこ vol.42	みちのく潮風トレイルを歩きに行こう！（第 5 回）
令和 4 年 11 月 1 日	国立公園（№808）	MCT に駐日ヨルダン大使を招聘（東北 REO）
令和 5 年 2 月 5 日	Kappo　3 月号	三陸を歩いて旅する　みちのく潮風トレイル
令和 5 年 2 月 25 日	S-style　3 月号	みちのく潮風トレイル　体験レポート
令和 5 年 12 月 25 日	おでかけみちこ vol.43	みちのく潮風トレイルを歩いて三陸ジオパークを満喫しよう！

3.テレビ・ラジオ（5 件）

放送年月日	放送局名	番組名
令和 4 年 10 月 10 日	ミヤギテレビ	「O h バンデス」駐日ヨルダン大使イベントの PR
令和 4 年 11 月 13 日	ミヤギテレビ	「発見！宮城のスマイルさん」みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター 板橋副センター長の紹介
令和 4 年 11 月 11 日	FM 仙台　AIR JAM Friday	みちのく潮風トレイルについて
令和 5 年 3 月 7 日	仙台シティエフエム　ラジオ 3	音で感じる、「みちのく潮風トレイル」体験レポート
令和 5 年 3 月 11 日	NHK ラジオ第一	石丸謙二郎の山カフェ 板谷センター長出演

5.海外メディア（3 件）

掲載年月日	掲載サイト	タイトル
令和 4 年 8 月 29 日	All About Japan	Walking Japan's 1,000km Michinoku Coastal Trail
令和 4 年 12 月 9 日	Visit MY Japan Facebook	JNTO マレーシアによるみちのく潮風トレイルの紹介
令和 4 年 12 月 28 日	Tokyo Weekender	A Beginner’s Guide to Tohoku’s Michinoku Coastal Trail

考察、及び今後の展開

講師登壇、メディアの取材ともに件数は増加している。特に、令和 4 年度からは、河北新報岩沼支局の記者の方がトレイルの取り組みに興味を持ち、4 月以降イベント等があるごとに告知記事や取材記事を掲載してくださる事を大変有難く感じている。テレビやラジオなどからお話をいただくこともあり、3 月 11 日に放送された NHK ラジオ「石丸謙二郎の山カフェ」に板谷センター長がゲストで生出演した際の反響はとても大きく、板谷以外にも八戸市にお住いのトレイルガイドの方や、気仙沼大島で観光に携わっている方など地元の方も登場し、みちのく潮風トレイルの距離の長さや各地の魅力がリスナーに伝わり、その後トレイルについての問い合わせや、Hiking Map Book の販売数が急増した。「ラジオがきっかけでみちのく潮風トレイルを初めて知った」という来館者も多く、メディアの影響力の大きさを改めて知った。今後も引き続き各方面に働きかけて、メディアに取り上げていただく機会を増やしていきたい。

事業費（受託金額）	1,269,613 円	経費（人件費含む）	1,261,141 円	売上	8,472 円

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-8
事業名	文教大学連携		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元	文教大学国際学部　海津ゆりえ研究室		
関係団体	トレイル沿線の事業者、みちのく潮風トレイルのハイカー		
担当者	業務主任:相澤久美　　業務補佐:板谷学		

実施内容　海津先生ゼミの学生によるみちのく潮風トレイルについての研究をサポート

【事業概要】

文教大学国際学部海津先生研究室の学生が、みちのく潮風トレイルハイカー、地域の方にインタビューを行い、冊子としてまとめる。

【目的】

エコツーリズムを学ぶために、みちのく潮風トレイルについて研究する。

【実施内容】

R3 年度、学生がインタビューする相手をコーディネイトするとともに、板谷、森が一ハイカーとしてインタビューに協力した。R4 年度は、インタビューを冊子にまとめるに際して、文章確認等に協力すると共に、新たなインタビュー先を紹介した。

完成した冊子
「聞き書きの旅　MCT2022」

文教大学 海津研究室の学生さんたち

考察、及び今後の展開

ハイカー、地域の方にインタビューした内容を「聞き書きの旅、MCT2022」として冊子にまとめていただいた。読ませていただくと、ハイカーや地域の方が伝えたかったことがきちんと伝わっていたことがわかる内容である。そしてインタビューをした学生の皆さんがこのトレイルに興味を持ってくれ、機会を作って歩きたい、という感想を持ってくれているのはとても喜ばしい。

今年度もこの研究は続くということなので、引き続き協力をしていきたい。

事業費（受託金額）	0 円	経費（人件費含む）	0 円	売上	0 円

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-9
事業名 業務名	2022 第 9 回 MON ミーティング		
期間	令和 4 年 11 月 26 月～令和 4 年 11 月 27 日		
委託元			
関係団体	みやぎ野外教育ネットワーク		
担当者	業務主任: 相澤久美　　業務補佐: 晴山功		

実施内容

（事業概要）

当法人が当年度から所属した「みやぎ野外教育ネットワーク（MON）」で毎年開催しているイベントを、名取トレイルセンターを会場に「ロングトレイル、歩く旅の魅力に触れる 2 日間」と題してロングトレイル、教育、減災・防災、自然をキーワードとしてワークショップ、トークセッションを開催した。

【目的】

宮城の自然体験活動やロングトレイルの実践者、研究者等が一同に会して普及、安全、環境保全、教育などの側面から情報交換を行い、それを広く普及する。また、野外教育・活動者の質を向上させ維持することを目的とする。

【実施内容】

1日目: 一般参加者数 26 名

① オリエンテーション「長く歩く旅ということ」

トレイルブレイズハイキング研究所代表 長谷川 晋 氏

② キーノート「PCT を歩いて感じたトレイル文化」

スピーカー : 板谷センター長

モデレーター : 長谷川 晋 氏

③ 野外食、懇親会 （野営場にて）

2日目: 一般参加者数 13 名

① ワークショップ1

a. ロングトレイルと安全「街と野外のハザマの救急法」

幼少年キャンプ研究会副代表 岡本 泰斗 氏

長谷川 晋 氏

b. ロングトレイルと教育「トレイルを歩いて学ぶということ」

仙台大学 井上 望 氏

郡山女子大学 柴田 卓 氏

② ワークショップ2

a. ロングトレイルとLNT「自然の活用と保全の融合をめざして」

くりこま高原自然学校 住吉 俊充 氏

リーブノートレースジャパン代表理事 岡村 泰斗 氏

b. ロングトレイルと災害「減災と防災を考える」

くりこま高原自然学校 塚原 俊也 氏

MORIUMIUS 安田 健司 氏

NPO 法人震災リゲイン 相澤 久美

③ トークセッション「何ができる？どう活かす？宮城のロングトレイルの未来」

スピーカー：

一社)トレイルブレイズハイキング研究所 所長 長谷川 晋 氏

株式会社インアウトバウンド仙台・松島 代表取締役 西谷 雷左 氏

環境省十和田八幡平国立公園管理事務所 櫻庭 佑輔 氏

モデレーター：

事務局長 相澤 久美

① キーノートスピーチの様子

② ワークショップ（ﾛﾝｸﾞﾄﾚｲﾙと教育）の様子

③ ワークショップ（ﾛﾝｸﾞﾄﾚｲﾙと安全）の様子

④ トークセッションの様子

考察、及び今後の展開

MON は宮城県内の産学官民9団体が所属しており、主に会員を対象に交流事業、指導者養成事業を行うことにより、野外教育の質を向上させ維持することをビジョンとしている。今回も、それぞれの分野の第一人者が講師となりワークショップを開催し、当スタッフや一般の参加者からもとても役に立つ内容であったとの言葉もあった。年一回のイベントへの参加だけではなく、他団体との交流や講義を開催してもらい知識・技術の向上に努めたい。

事業費	0円	経費（人件費含む）	0円	売上	0円

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-10
事業名	広田小学校 6 年生による広田半島ルートマップ作成		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元	陸前高田市観光物産協会		
関係団体	陸前高田市立広田小学校、大船渡自然保護官事務所、一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所		
担当者	業務主任:相澤久美、 業務担当:板谷学		

実施内容

【事業概要】

陸前高田市立小学校 6 年生が、陸前高田市観光物産協会、大船渡自然保護官事務所の指導のもとで、魅力、見どころなどを自分たちで調査して、みちのく潮風トレイル広田半島ルートのマップを作成。令和 4 年度で三年目の取り組みとなる。

【目的】

小学 6 年生が自分たちでトレイルルート沿いの見どころ、魅力発掘をすることにより、自分たちの地域にみちのく潮風トレイルが通っていること、地元の魅力の再認識を促すとともに、小学生がこの活動することによって、地域の方々にみちのく潮風トレイルを広く認知してもらうことを促す。

【実施内容】

令和 4 年 3 月 3 日、広田小学校で行われたトレイルマップ授与式に板谷が参加。

その後の 6 年生とハイカーが触れ合う授業にもトレイルブレイズハイキング研究所長谷川所長とともに参加し、ハイキング装備を見てもらい、ハイキングそのものに興味を持ってもらった。

授与式の様子　（左）ハイキング装備に興味津々（右）小学生への自己紹介タイム

考察、及び今後の展開

この地域を訪れたハイカーが、小学校から子どもたちに声をかけられてマップをもらった、という心あたたまるエピソードも報告されている。地域の方々とハイカーの交流にも繋がっていて、とても素晴らしい取り組みである。また、岩手日報、東海新報など地元メディアにも大きく取り上げられており、みちのく潮風トレイルの認知度アップにも繋がっている。みちのくトレイルクラブとしても出来ることは今後も応援していきたいと考えている。

事業費（受託金額）	0 円	経費（人件費含む）	0 円	売上	0 円

事業種別	(1.4)トレイルや地域の歴史、自然、文化に関わる啓発及び情報発信事業	事業番号	(1.4)-11
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル全線開通 3 周年記念「名取トレイルセンターTrail Days」		
期間	令和 4 年 6 月 18 日～令和 4 年 6 月 19 日		
委託元	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会		
関係団体	株式会社ハイランドデザイン(ハイカーズデポ)、Sanpo's FunLite Gear、閖上中央町内会、NPO 法人仙台スラックライン、一般社団法人タンコーカナリ		
担当者	業務主任:相澤久美　業務補佐:西澤美幸		

実施内容

【事業概要】

地域の方とハイカーが交流するトレイルのお祭り Trail Days は、アメリカのロングトレイル沿いの各地で開催されている。みちのく潮風トレイルで全線開通 3 周年を記念して、名取トレイルセンターで Trail Days を開催し、関係団体の協力を得てワークショップや講座、野外でのスポーツ体験などのプログラムを企画・実施した。

【目的】

名取トレイルセンターは、みちのく潮風トレイルの利用拠点であると同時に、ハイカーと地域の方の交流拠点施設を目指している。地域の方やハイカー、トレイルに興味がある方など色々な方に、Trail Days でのプログラム参加やセンターでの滞在を通じて、トレイルやハイキング文化に親しんでいただくことを目的とした。併せて、閖上中央町内会協力の下お振舞いを実施し、地域の方には名取トレイルセンターがどんな施設か知っていただき、地域外の方にはお振舞いを通じて閖上の人や文化を知っていただくことも目的の一つとした。

【実施内容】

令和 4 年 6 月 18 日(土)～19 日(日)の 2 日間、名取トレイルセンターで以下のプログラムを実施した。

① はじめての UL～軽いって自由。 2022MCT 特別講座

1 日目は、道具の選び方やパッキング方法、ツェルトの張り方、2 日目は塩竈市～多賀城市ルートを歩きながら街歩きの注意点や体のメンテナンス方法など、2 日間かけてじっくり UL(ウルトラライト)ハイキングの本質を講習した。

協　力:ハイカーズデポ

講　師:土屋　智哉(理事、ハイカーズデポ)、長谷川　晋氏(ハイカーズデポ)

② アルコールストーブワークショップ

さんぽ氏に教わりながら、ハイキングでも使えるアルコールストーブを空き缶から作った。

協　力:Sanpo's FunLite Gear

講　師:さんぽ(佐藤　淳)氏

③ 閖上の郷土料理お振舞い

閖上住民の皆様に閖上の郷土料理「おくずがけ」「納豆餅」「ずんだ餅」を作っていただき、来館者にお振舞いした。

協　力：閖上中央町内会

④　岩間幸司写真展トークイベント～1000キロ歩いた写真家が見て感じたMCTと三陸ジオパークの魅力～

岩間氏がみちのく潮風トレイルを歩きながら撮影した写真を見ながら、三陸ジオパークとトレイルの重なり、見られる景色や人との出会いについて紹介した。

登壇者：岩間　幸司氏（カメラマン）、土澤　智氏（三陸ジオパーク事務局長）、相澤　久美

⑤　地図を読んで道を楽しむ

読図や現在地の把握方法を講習した。

講　師：渡邉　元嗣氏（東北地方環境事務所　自然保護官）

⑥　トレイルバー作りワークショップ

自分の好きな食材を選び、ハイキングに持ち歩けるトレイルバーを作った。

講　師：丹生　茂義（名取トレイルセンタースタッフ）

⑦　ロング・ディスタンス・ハイキング　～海外と日本のロングトレイルを歩いて～

スタッフからみちのく潮風トレイルと海外のトレイルを歩いたときの話をした後、参加者の皆さまにも話してもらい、自身の体験談などを語らい合った。

登壇者：石井　宏之（名取トレイルセンタースタッフ）、丹生　茂義

⑧　スラックライン体験

野営場にスラックラインを設置し、来館者に体験してもらった。

協　力：NPO 法人仙台スラックライン

⑨　バルシューレ体験

野営場にゲームエリアを設置し、体を動かして遊ぶバルシューレを子どもたちに体験してもらった。

協　力：一般社団法人タンコーカナリ

はじめての UL（ツェルト張り）

アルコールストーブワークショップ

 お振舞い	 岩間幸司写真展トークイベント
 地図を読んで道を楽しむ	 トレイルバー作りワークショップ
 ロング・ディスタンス・ハイキング	 スラックライン体験
 バルシューレ体験	

考察、及び今後の展開					
いつも遊びに来てくださっている常連のハイカーだけでなく、今回初めて名取トレイルセンターに来たという地域の方やトレイルに興味のある方など、幅広い方にお越しいただき、賑やかな 2 日間となった。イベント参加者からは、「トレイルを歩くのがより楽しみになった」「おくずがけを食べるのは初めてですごく美味しかった」といった感想をいただき、歩く文化や地域を知ってもらう良い機会になった。ハイカー同士久しぶりの再会を喜んでいる様子や、初めて会って意気投合してお話しされている様子が館内のあちこちで見られ、スタッフとお客様だけでなくお客様同士の交流の輪も広がったように思う。 ハイカーや地域の方の交流の場として、今後も定期的に名取トレイルセンターで Trail Days を開催していきたい。将来的には、みちのく潮風トレイル沿線の他の地域でも Trail Days を開催してくださる地域が出てきて、アメリカのようにトレイル沿線各地で Trail Days が開催され、皆で盛り上げていく文化を作っていきたい。 ※名取トレイルセンター運営協議会事業として今年度から開催したが、予算計上がされていなかったため令和 5 年度より協議会予算としてみちのくトレイルクラブから 50 万円計上。館内展示やイベント開催予算として活用する。今年度のトレイルデイズの売上は館内イベントに計上した。					
事業費	0 円	経費（人件費含む）	240,450 円	売上	−240,450 円

事業種別	(1.5)トレイルに関わる調査・研究事業	事業番号	(1.5)-1
事業名	「ロングトレイルの維持管理・運営システム構築の考え方」策定業務		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元	一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所		
関係団体	環境省国立公園課		
担当者	業務主任:相澤久美　業務補佐:板橋真美		

実施内容

【事業概要】

全国にある長距離自然歩道やロングトレイルの持続可能な運営を実現するために取り組むべきことについて検討される業務において、みちのく潮風トレイルの事例を取り上げ、検討会、現地視察等実施された。

【目的】

みちのく潮風トレイルが信越トレイルと並びモデル事例のひとつとされたため、その検討委員として参加し、みちのく潮風トレイルの運営計画等について、また運用する現場について意見を述べるために参加した。

【実施内容】

3 回の検討会(1 回はみちのく潮風トレイルの現地視察)に参加し、最後に開催された公開懇談会に登壇し意見を述べた。

考察、及び今後の展開

先進事例として取り上げられることも多くなった MCT だが、その成功が他の長距離自然歩道、ロングトレイルの取り組みを活性化することにもつながる。謙虚に、恵まれた環境を感謝し、気を引き締めて取り組みを進めるべきであることを再認識する機会となった。今回まとめた「ロングトレイルの維持管理・運営体制構築の考え方」は当法人も学ぶべきものとして職員と共有していく。

事業費(受託金額)	講師講演に含む	経費(人件費含む)	講師講演に含む	売上	講師講演に含む

1.6. トレイルに関わる人材育成・ガイド養成事業

本事業年度は実施なし。

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	事業番号	(1.7)-1
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター管理運営等業務／(2)ハイカー来館者等へのサービス提供事業(令和 4 年度みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター管理運営等業務)		
期間	令和 4 年 4 月1日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体			
担当者	業務主任:板谷学　業務補佐:板橋真美		

実施内容

【事業概要】

名取トレイルセンターの来館者およびハイカーへ各種サービスを提供する。

【目的】

名取トレイルセンターはハイカーや地域住民、観光客等が利用するため、それぞれの対象に向けた情報提供や館内の利用案内等を行う。

【実施内容】

①利用者への情報提供

ハイカーに必要な情報をセンター窓口で情報提供し、センターの展示に記載・掲示、展示資料を作成した。さらに、ウェブサイト等に日英併記で掲載しハイカーへの周知を図った。トレイル全般に対しての電話、メール等による利用者からの問合せに対応した。

- 年間来館者数:18,491 名(内、ハイカー数 1,625 名)。※表 1 参照
- 問合せ件数:電話 755 件、メール(フェイスブック含む)124 件。主な問合せ対応は表 2 のとおり。外国人からの問合せについては表 3 に示す。
-

(表1)センター来館者数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度累計
来館者数	2019	1,755	3,862	2,298	2,644	2,058	1,753	1,166	1,613	1,041	1,014	1,023	1,132	21,359
	2020	406	399	962	1,132	1,344	1,258	1,847	1,994	784	846	1,016	1,138	13,126
	2021	0	790	1,575	1,093	907	534	1,396	1,345	1,023	1,135	1,454	1,451	12,703
	2022	1,960	1,939	1,318	1,401	1,315	1,541	2,276	1,745	1,180	1,241	1,190	1,385	18,491
内、ハイカー数	2019	11	124	190	63	105	118	50	77	91	119	96	82	1,126
	2020	32	20	82	140	191	181	210	168	138	105	150	187	1,604
	2021	0	48	90	78	53	69	102	164	85	80	59	135	963
	2022	244	101	244	93	70	85	189	170	70	86	96	177	1,625

（表 2）主な問い合わせ対応（窓口、電話メール）

問合せ内容	回答・対応
トレイル沿線の宿泊施設等	宿泊施設、野営場については可能な限り回答。
トレイルの歩き方	計画の立て方や装備、服装などについて回答。
ルートの距離	データブックに基づき回答。
通行止め等路体の状況	HP の注意情報を見ていただくよう案内。
館内施設貸出	利用規程に沿った内容で当日空きがあれば貸出対応。
イベントについての問合せ、申込み	都度対応。
センター野営場の予約方法や料金等	野営場特設 HP を案内。
Hiking Map Book の販売	販売施設や通販での購入方法を案内。

（表 3）外国人からの問い合わせ

問合せ内容	回答・対応
○日間（○週間）で歩くのでお勧めのルートを教えて欲しい。	それぞれのハイカーの経験値や歩ける距離、何に興味があるか等をヒアリングして、適切なルートを案内。毎回、Hiking Map BookとDATA BOOKを購入し計画を立てることを勧めている。 また、「新しい東北」のガイドブックPDFや外国人向けファンサイト、FBコミュニティ等を紹介。
宿泊場所の情報が欲しい。また、当日予約なしで行って宿泊できるかどうかを教えて欲しい。	外国人向けファンサイト"Michinoku Coastal Trail"の宿泊情報ページを紹介。みちのく潮風トレイル沿線の宿やキャンプ場は予約をしないと宿泊できない場合が多いため、事前にハイキングの予定を立てて予約をすることを勧めている。
荷物運搬サービス付きのツアーを紹介して欲しい。	旅行会社「WALK JAPAN]、「みちのくハイカーズ」、「インアウトバウンド仙台・松島」が、外国人にも対応した荷物運搬付きのセルフガイドまたはガイド付きツアーを販売しているため、問い合わせ先を紹介した。
離島ルート（塩竈市～東松島市、石巻市）の船の予約について	寒風沢島～宮戸島のトレイル専用渡船は 5 日前までに名取トレイルセンターに予約を入れてもらい、当日までの手続きなどを説明。また、石巻市の離島（田代島、網地島、金華山）については、各船舶会社の問い合わせ先を紹介した。

②館内施設の利用案内

来館者に対し施設の使用案内を行う他、館内施設（講義室、会議室、実習室、シャワー）等の予約対応、貸し出しを行った。

考察、及び今後の展開

秋以降、来館者数（特にハイカーの数）が回復傾向にあり、みちのく潮風トレイルを歩くことをこの数年間待ちわびていたという外国人が歩き始める姿が見受けられるようになった。それと並行して海外からのトレイルに関する問い合わせの件数も増え、質問の内容もおすすめのルートや、ガイド付きツアーについて等という具体的なものが多かった。今後は国内外のハイカーに向けた宿泊・キャンプ場リストの作成や公式ガイドブックの製作・販売などを急ぎたいと考えている。

事業費 （受託金額）	10,634,811 円	経費 （人件費含む）	10,651,484 円	売上	−16,673 円

※上記の金額は(1.7)-2 を含む。

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	事業番号	(1.7)-2
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター管理運営等業務／(3)センター管理業務(令和4年度みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター管理運営等業務)		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体			
担当者	業務主任:板谷学　業務補佐:板橋真美		

実施内容

【事業概要】

名取トレイルセンターの清掃および展示施設の点検管理を行う。

【目的】

施設の衛生環境を維持管理し、利用者が快適に過ごせる環境を整える。

【実施内容】

①清掃業務

センターの利用環境を快適に維持するため、日常清掃と定期清掃を実施した。

②センターの点検等業務

展示施設の点検管理(日々の閉館時の施設の消灯や各部屋の施錠、見回り等も含む)を行った。

考察、及び今後の展開

日々のセンター館内の点検・清掃に加え、みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターサポーター(グリーンメンバー)の皆さまにお手伝いいただき、園庭の除草作業や年末の大掃除を行った。事務局からの声がけによりお集りいただく機会以外にも、除草目的で定期的に来館してくださるグリーンメンバーさんもいらっしゃり、センタースタッフで手が回らない広い園庭の芝生を美しく保つことができたことは、大変有難かった。引き続き皆様の力をお借りしながら、利用者に気持ちよく過ごしてもらえる環境づくりをしていきたい。

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	事業番号	(1.7)-3
事業名 業務名	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会業務		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
委託元	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会(名取市)		
関係団体			
担当者	協議会副会長:佐々木豊志、業務主任:相澤久美 センター長:板谷学、副センター長:板橋真美、協議会幹事長:関博充 業務は職員全員で実施		

実施内容

【事業概要】

みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会の事務局として、みちのく潮風トレイル、及びみちのく潮風トレイル 名取トレイルセンターの管理運営に関する事業を実施した。

【目的】

協働する自治体、地域事業者、住民の方々のトレイルやハイキングに関する理解を促し協力を得ること、また多くのハイカーに来訪してもらい、地域の方々と交流を産み出し、東北沿岸の復興と更なる振興に資することを目的とし実施した。地域の方々のトレイルやハイキング、ハイカーに対する理解は、みちのく潮風トレイルを歩いてくれるハイカーが地域の方々と交流する中で自然に進めてくれており、名取トレイルセンターでは、ハイカーが安心安全にトレイルを歩くことができるよう必要な情報発信を収集発信し、地域の方々とハイカーの交流がよりよく進むことを目的とし運営された。

【実施内容】

事業1 みちのく潮風トレイルの管理運営に関する事業／事業(1.2)-1に詳細記載

(1)統括本部として、以下の事業を行った。

・路線の再設定支援、運営計画構成員との連絡調整、運営計画構成員からの情報収集、運営計画構成員への提供・指示、状態把握(一斉巡視等)の声がけ

・管理台帳の管理・更新・共有

・環境省直轄区間の維持管理業務

・整備ボランティアの募集と管理

・利用者情報の収集

・地域連絡会の開催支援

・サテライト連絡会の開催

・旅行会社等への情報提供

・イベント用具類の管理・貸出

・日本ロングトレイル協会など関係他団体との情報交換

(2)東松島市から相馬市区間のサテライトとして、以下の事業を行った。

・各構成員との連絡調整、情報収集・提供、状態把握(一斉巡視等)の声がけ

・現地調査

・地域連絡会の開催

事業2　ハイカー、来館者等へのサービス提供事業／事業(1.7)-2 に詳細記載

ハイカー、来館者等へのサービスとして以下の事業を行った。

・窓口・電話・メール問合せ対応

・館内案内、来館者へのレクチャー

・来館者への観光等情報の提供

・書籍・映像媒体の管理

事業3　環境教育プログラム等提供事業

交流人口の拡大、環境保全・自然保護への理解・参画を推進するため、以下の事業を行った。

・地域資源を活かした環境教育プログラム等の提供

・センターや地域資源を活用したプログラムを実施する他団体の情報収集及び連携体制の構築

事業4　地域交流促進事業

周辺地域住民の地域交流を促進し、また、国内外からの来訪者と地域住民、来訪者同士の交流を促進するための事業として、以下の事業を行った。

・名取トレイルセンター　TRAIL DAYS、地域向け講座、各種ウォークイベント、クラフト体験等

・センター周辺の施設等の情報発信

・館内施設の貸室対応

事業5　センター維持管理事業

センターを適切に管理運営するために、以下の事業を行った。

・館内及び敷地の清掃

・設備の点検

事業6　その他、事業の理念・目的を達成するために必要な事業

・運営協議会会長のトレイルの視察及び八戸市長、階上町長、洋野町長への表敬訪問

事業１：地域連絡会

事業１：サテライト連絡会

事業3:清掃活動（名取市）

事業4:名取トレイルセンター TRAIL DAYS

事業4:森づくり（植樹）イベント

事業6:八戸市長、階上町長、洋野町長への表敬訪問

考察、及び今後の展開

コロナウイルス感染に対する人々の移動制限が緩和される中、名取トレイルセンター来館者数は令和 3 年度よりも大幅に増え、トレイル上を歩くハイカーの数も回復してきている。

地域連絡会においては、自治体以外の地域事業者の参加が少しずつ増えており、地域全体でトレイルを活用しようという機運は盛り上がってきている。また、地域住民の主体的なトレイル整備やハイカーへの協力も増えた。

施設運営は 4 年目に入り、1 年間様々な取り組みが行われたが、それぞれの職員が意見を出しあい、新たな取り組みをすることで少しずつファンの獲得につながっている。令和 4 年度では初めて名取トレイルセンターにて「名取トレイルセンター TRAIL DAYS」を開催した。このイベントを通じて、名取市や閖上地域の方々との交流を深めることができた。環境省施設であることを踏まえ、より公共性の高い活動を意識し取り組んでいきたい。

会長である名取市山田市長のトレイル視察及び首長の訪問は、協議会予算には計上されておらず、協議会の各構成員が費用負担し実施しているが、自治体にトレイルの取り組みを促す上では重要な役割を担うため、今後も継続実施したい。

事業費 （受託金額）	7,232,751 円 （名取市負担金）	経費 （人件費含む）	7,219,106 円	時期 繰越金	13,645 円

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理業務	事業番号	(1.7)-4
事業名 業務名	野営場運営、野営場予約サイト運営 名取トレイルセンター野営場等の管理運営業務		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元	東北地方環境事務所		
関係団体			
担当者	業務主任:相澤久美　主担当:晴山功		

実施内容

【事業概要】

名取トレイルセンター野営場の利用者への対応及び、委託施設の維持管理、周辺施設や関係団体等と連携してサービス向上に努めた。

【目的】

当該施設は、みちのく潮風トレイルを歩くハイカーへのサービス提供だけでなく、オートキャンプやデイキャンプ等のレクリエーションの機会やサービスを提供することにより周辺地域住民をはじめとする人々が交流する場として管理運営されることを目的としている。

【実施内容】

(1)　利用者への対応

① 利用予約の受付及び調整

② 施設利用料金の徴収

③ 施設利用方法の説明

④ 名取トレイルセンター、及び周辺観光施設の案内

⑤ ウェブサイトなどによる施設の広報

⑥ 年少者、高齢者、障がい者等へのサポート

⑦ 窓口対応、各種問い合わせへの対応

⑧ 要望、苦情、トラブル、緊急時等への対応

⑨ テント設営時のアドバイス

(2)　野営場施設の維持管理

(3)　野営場施設の点検及び修繕

(4)　水抜き作業(水道の凍結が想定される際)

(5)　芝刈り払いと除草

(6)　樹木点検

(7)　清掃ならびに廃棄物の回収及び破棄

(8)　バイオトイレの点検及び清掃

(9)　備品管理

(10)　忘れ物の回収、保管、返却

(11)　正式オープン記念イベント開催　：(1.7)-6にて別途報告

通常の週末の状況

夏まつり時の混雑している状況

冬期も焚き火キャンプを楽しむ方が多かった

考察、及び今後の展開

利用が週末に集中しているため平日の稼働率を上げる施策として、キャンプ場のサブスクリプションサービス提供会社と提携して水曜日および木曜日のオートサイトプランの一部サイトの提供を始めたが当年度の販売実績は無し。当初から検討しているハンモックの貸出しについては夏場を目途に開始する予定である。利用者の幅を広げるためにキャンプ初心者向けに通年でのキャンプ教室開催を検討し、また、貸室利用と併せて企業での社外研修の場として利用してもらえないかを企業に打診する。

アンケートで要望の多かったセンター内トイレ・シャワーの利用時間延長について、試運用を経て検討する。

引き続き、ハイカーや周辺地域住民をはじめとする野営場利用者へのサービス向上に積極的に取り組んでいきたい。

昨年度プレオープンし、今年度初めて1年間運営した。稼働率はまだ低く、人件費、消耗品など加えると赤字ではあるが、徐々に利用者も増加傾向にあるため次年度の黒字化を目指したい。

事業費 （受託金額）	3,649,328 円	経費 （人件費含む）	4,902,826 円	売上	−1,253,498 円

●野営場売上状況

	4月			5月			6月			7月		
	オート	オート以外	合計	オート	オート以外	合計	オート	オート以外	合計	オート	オート以外	合計
稼働率(%)	24%	20%	20%	40%	27%	30%	15%	9%	10%	17%	38%	13%
利用人数(名)	97	127	224	156	188	344	52	50	102	43	82	125
売上金額	174,790	147,210	322,000	318,010	225,060	543,070	110,770	73,095	183,865	52,690	152,570	205,260

	8月			9月			10月			11月		
	オート	オート以外	合計	オート	オート以外	合計	オート	オート以外	合計	オート	オート以外	合計
稼働率(%)	32%	53%	19%	23%	51%	18%	23%	59%	19%	21%	45%	15%
利用人数(名)	138	110	248	76	108	184	87	125	212	70	79	149
売上金額	263,230	143,660	406,890	175,010	131,890	306,900	182,270	145,640	327,910	148,390	99,440	247,830

	12月			1月			2月			3月		
	オート	オート以外	合計	オート	オート以外	合計	オート	オート以外	合計	オート	オート以外	合計
稼働率(%)	20%	32%	12%	26%	49%	17%	23%	35%	13%	24%	52%	18%
利用人数(名)	56	47	103	73	68	141	74	44	118	91	101	192
売上金額	128,370	68,420	196,790	169,730	92,070	261,800	152,020	58,080	210,100	180,730	132,220	312,950

	年計			決算
	オート	オート以外	合計	合計
稼働率(%)	23%	15%	17%	
利用人数(名)	1,022	1,129	2,142	
売上金額	2,097,920	1,469,355	3,645,698	3,766,031

※利用者数 2,142 名中ハイカー96 名　（国内 94 名、海外２名）

●アンケート回収件数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
40	56	32	38	43	41	54	34	33	50	40	56	517

※以降の「利用者属性」は野営場利用件数：1,044 件中、アンケート回答協力件数：517 件（50%）の数値である。

未回答の設問があるため、各設問の合計数は合致しない。

●利用者属性（年間累計）

国籍	累計	
	人数	割合
日本	742	100%
その他	2	0%
合計	744	100%

性別	累計	
	人数	割合
男性	970	69%
女性	433	31%
合計	1,403	100%

年齢	累計	
	人数	割合
5 歳以下	94	6%
6歳～12歳	168	11%
13歳～19歳	49	3%
20代	211	14%
30代	358	24%
40代	380	25%
50代	181	12%
60代	52	3%
70歳以上	8	1%
合計	1,501	100%

利用回数	累計	
	人数	割合
初めて	366	62%
２回目	95	16%
３回以上	125	21%
合計	586	100%

宿泊数	累計	
	件数	割合
0泊	28	5%
1泊	535	89%
2泊	31	5%
3泊以上	9	1%
	603	100%

利用目的	累計	
	人数	割合
ハイキング	26	4%
キャンプ	513	85%
デイキャンプ	31	5%
イベント参加	21	3%
ワーケーション	0	0%
観光	10	2%
合計	601	100%

誰と利用したか	累計	
	人数	割合
ソロキャンプ	187	31%
友人・知人と	167	28%
家族・親族と	253	42%
合計	607	100%

●アンケート設問以外の利用者からのご意見

【トイレ・シャワー関連】

・とても良かったです。珍しいトイレ、娘も勉強になりました。

・シャワーを利用できる時間帯を長くしてほしい　　×９件

・トイレの数を増やすか、館内トイレの利用可能時間を長くして欲しい　　×８件

【全体要望・改善】

・焚き火サイトの増設

・フリーサイトでの炭の使用を許可して欲しい

・風避けがあれば良い。　　×　２件

・オートサイト利用しましたが、隣の間隔がもう少し広ければ良かったなぁと思いました

・焚き火サイトの区画が狭いと感じました

・今回、テントを張った場所はグラウンド固くてペグ刺すのやっと

・フリーサイトへのバイク乗り入れ、もしくはサイトから見える所にバイクの駐輪場が有ると良い。イタズラ、盗難が心配なので。

・フリーサイトでも焚き火ができるとうれしいです。　　×２件

・焚火スペースに炊事場が欲しい

・トイレに行くまでが暗いです

【苦情】

・バイクがうるさかった　　×２件

・朝市に来た人がキャンプ場まで入ってきて芝生やサイトに停めたりしたので注意しましたが、何か対策していただきたいです。猛スピードで入ってくるので危ないです。

・昨晩は１時過ぎまで騒がしかった。最低限のマナーは守って欲しい。

・深夜まで賑やかなグループが散見されます

【サイト以外の要望】

・食料品を販売して欲しい

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理業務	事業番号	(1.7)-5
事業名 業務名	名取トレイルセンター野営場 正式オープン記念イベント 高橋庄太郎さんの「歩き旅とテント泊の楽しみ方」、親子で楽しむ無料プログラム		
期間	令和 4 年 4 月 16 日～令和 4 年 4 月 17 日		
委託元			
関係団体	愛島伝承凧の会　武田氏、NPO 法人仙台スラックライン		
担当者	業務主任：板橋真美　　業務補佐：晴山功		

実施内容

（事業概要）

名取トレイルセンター野営場の正式オープンを記念して、イベントを開催した。

【目的】

野営場の存在を広く知っていただくことを目的に、宮城県仙台市出身の山岳・アウトドアライターの高橋庄太郎さんをお迎えし、メインイベントとして講演をしていただいた。また、子供連れの方にも野営場を楽しんでいただけるように「親子で楽しむ無料プログラム」を開催した。

【実施内容】

4/16　高橋庄太郎さんの「歩き旅とテント泊の楽しみ方」

第一部ではテント泊によって更に広がる「歩き旅」の楽しみ方についての講演。第二部は野営場で高橋さんと一緒にテント泊懇親会を行った。神奈川県や埼玉県など遠方から参加した高橋さんのファンやみちのく潮風トレイルハイカーが焚火を囲みながら会話を楽しんだ。

4/17「親子で楽しむ無料プログラム」

① 凧作りワークショップ：地元、名取市の愛島（めでしま）伝承凧の会　武田堆雄さんを講師に迎え、この地方に伝わる凧「するめ天旗」作りに親子の参加者が挑戦した。完成後は野営場に出て凧揚げを楽しんだ。

② スラックライン体験教室：宮城県内全域で活動を行っている NPO 法人仙台スラックラインのご協力のもと、野営場の一角でスラックラインという綱渡りのようなスポーツを参加者が楽しんだ。参加者はラインに乗れるまで夢中で何度も練習を繰り返し、盛況であった。

③ テント、ツェルト張り体験会：みちのく潮風トレイルの歩き旅の中で使う方も多いテントやツェルトを野営場に張り、職員が説明しながら、実際に触る・張るという体験を楽しんでもらった。

① 山岳・アウトドアライターの高橋庄太郎さん

② 「歩き旅とテント泊の楽しみ方」について

③　会場は満席となりました

④　高橋さんを囲んでの懇親会＠野営場

⑤　凧づくりワークショップ

⑥　大人も子供も大満足！

⑦　スラックライン体験教室

⑧　テント、ツェルト張り体験会

考察、及び今後の展開

高橋さんが広報にご協力してくださったこともあり、遠方から初めて名取トレイルセンターに足を運んでくれた参加者が何人もいて、みちのく潮風トレイルに興味を持ってもらうことができた。また、野営場を使った親子向けイベントも初の試みだったが、参加者には大変好評であった。凧作りワークショップ講師の武田さんは、名取市内の小学校の元校長先生で、凧作りを通して子供たちに地域の伝統や歴史・文化を伝える素晴らしい活動を続けている。引き続き武田先生とは連携して凧作りイベントをやっていきたいと考えている。また、仙台スラックラインとは今後月に一回程度、野営場で体験会を行っていただく予定である。このように他団体との関係性ができたことも、今回のイベントの大きな収穫であった。

事業費	館内イベントに含む	経費（人件費含む）	館内イベントに含む	売上	館内イベントに含む

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	事業番号	(1.7)-6
事業名 業務名	海辺の草花観察会 in 名取閖上		
期間	令和 4 年 5 月 28 日		
委託元	みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター運営協議会		
関係団体	主催） 北の里浜花のかけはしネットワーク NPO 法人名取ハマボウフウの会		
担当者	業務主任： 板橋真美　 業務補佐： 晴山功		

実施内容

（事業概要）

閖上海岸に自生する海浜植物の観察と、名取トレイルセンターに昨年植えられた海浜植物の生長の様子を観察してふるさとの海辺の魅力を発見する観察会を行う。

【目的】

それぞれの海浜植物が海辺の厳しい環境で生きる工夫を学ぶと同時に、この地域の自然の豊かさと、その自然と共生してきたこの地域の文化（保護、食材として利用）を知っていただき継承していく。

【実施内容】

午前：名取市閖上の海岸で海浜植物の観察会

北海道大学大学院農学研究院の松島肇氏と、宮城植物の会の杉山多喜子氏が講師で閖上海岸に自生している海浜植物の観察を行った。小学校低学年の児童から60歳台後半の方まで幅広い年齢の方の参加があった。参加者の感想のなかには「砂浜にくると、今までは遠くの景色しか目に入らず足元を見て歩くことはほとんどなかった。今回の観察会で海浜植物について教えてもらったので、今度からは植物勉強し、良く見ながら歩こうと思う。」という意見もあり、海浜植物に興味をもつ人が多くいた。

午後：名取トレイルセンターの砂浜花壇で観察と管理作業（雑草除去等）

昨年に名取トレイルセンター園地内の「生物多様性ゾーン」に造成した砂浜花壇に、北の里浜花のかけはしネットワーク様の活動で石狩中学校の生徒たちが育てたハマボウフウなどの海浜植物の苗が植えられている。その海浜植物の種類毎の株数調査を行い、また、アカザやカタバミなどの雑草抜きを行った。

※昼休憩時に、名取ハマボウフウの会様が採取したハマボウフウで地元閖上の方々が天ぷら作り、それを参加者が試食した。 ハマボウフウは閖上では古くから食用として、おひたしや天ぷらにして食べられていたとのことで、地域の食文化を学ぶことができた。

① 海浜観察会の開始 	② 砂浜に降りて海浜植物の観察
③ 講師から説明を受け撮影をする参加者 	④ 昼休憩に頂いたハマボウフウの天ぷら
⑤ 砂浜花壇に植えられている植物の説明 	⑥ 砂浜花壇の植物の株数調査

考察、及び今後の展開

参加者の感想にもあったように、普段気にも留めなかった植物について教えてもらうこと、知ることで植物そのものやその地域に興味を持ってもらえることを改めて認識した。今後は、観察を行うだけではなく、その内容を参加者に成果資料として作成してもらい、それをトレイルセンター館内の展示にしてより多くの方の見ていただき、この地域のことを知っていただく機会を設けたいと思う。砂浜花壇については定期的なメンテナンスと植物の生長の観察を続けていくが、それだけではなく生物多様性ゾーン全体の活用を検討する必要があると考える。

事業費	館内イベントに含む	経費（人件費含む）	館内イベントに含む	売上	館内イベントに含む

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	事業番号	(1.7)-7
事業名 業務名	職場体験受入れ		
期間	① 令和 4 年 8 月 24 日～26 日 ② 令和 4 年 11 月 16 日～17 日		
委託元	名取市立閖上小中学校、仙台市立袋原中学校		
関係団体	名取市立閖上小中学校 仙台市立袋原中学校		
担当者	業務主任:板橋真美　　業務補佐:晴山功、森恭平、松川亮太		

実施内容

（事業概要）

地元名取市および隣接する仙台市の中学校生徒の職場体験学習の受入れを行った。みちのく潮風トレイルや歩き旅の文化、魅力を知ってもらい、窓口業務で来館者への対応や施設整備の作業を行った。

【目的】

地域の一員である私たちが、教育機関と連携して教育に携わり、子供たちに、地域の魅力やそれを支える人の生き方（仕事）に触れることで、ふるさとに対する理解と愛着、地域の担い手としての自覚を持ってもらうことを目的とする。また、名取トレイルセンターに割当たった生徒が来て、みちのく潮風トレイルとハイキング文化を知ってもらい、それを体験学習後の校内発表会で発表してもらうことにより、より広く生徒たちに認知してもらう。

【実施内容】

① 閖上小中学校

1日目:オリエンテーション（名取トレイルセンター、みちのく潮風トレイルの概要紹介）
　　窓口業務体験（接客、電話対応、館内整頓）

2日目:テント・ツェルト設営体験、野営場整備、植樹のメンテナンス

3日目:世界のトレイルについて知る、MCT憲章について考える
　　窓口業務体験（トレイルルートに関する問い合わせへの対応）

② 袋原中学校

1日目:オリエンテーション（名取トレイルセンター、みちのく潮風トレイルの概要紹介）
　　窓口業務体験（接客、電話対応、館内整頓）
　　世界のトレイルについて知る、MCT憲章について考える

2日目:MCTの管理体制やサポーター制度、グリーンメンバーとの関わりについて知る
　　テント・ツェルト設営体験、野営場整備

① オリエンテーションの様子（閖上中） 	② 接客練習の様子（閖上中）
③ 地域の取り組みについて勉強（閖上中） 	④ テント設営体験（袋原中）

考察、及び今後の展開

最後に、参加した生徒に「歩く旅の魅力は？」と問いかけたところ、「長い距離を歩く事で達成感を得られたり、綺麗な景色が見られるところ」「歩く事で見られる海や山の自然や景色が魅力」という答えが返ってきたりした。もう少し大きくなったら MCT を歩いて、ハイカー同士や地域の方々との交流することを期待している。

参加者には「将来、トレイルセンターで働きたい」という生徒もおり、前向きに頑張る生徒の姿勢に、職員も引き続き頑張っていこうという気持ちになった。

事業費 （受託金額）	0 円	経費 （人件費含む）	0 円	売上	0 円

事業種別	(1.7)上記目的を達するために必要な施設等の活用及び受託管理事業	事業番号	(1.7)-8
事業名	環境教育プログラム「生きのこったマツの物語」		
期間	令和 4 年 9 月 23 日		
委託元			
関係団体	ゆりりん愛護会		
担当者	業務主任:相澤久美　業務補佐:板橋真美		

実施内容

【事業概要】

名取トレイルセンター園庭に植えられているクロマツについての講座を開催した。

【目的】

センター園庭北側に植えられているクロマツは、東日本大震災を乗り越えて生き残った閖上海岸のマツの子どもたちであることから、「生きのこったマツの物語」と題して、震災前から海岸林保全に力を注ぎ続けている「ゆりりん愛護会」代表の大橋信彦氏からお話を伺う。

【実施内容】

前半は講義形式で、大橋氏の活動の軸となる海岸林の保全・再生事業を行う「ゆりりん愛護会」と「二つの名取を結ぶ会」についてのお話を伺った。また、震災後に閖上海岸から種が救い出されたクロマツが、多くの人の助けをもらって苗に成長し、また名取の地に戻ってくるまでのストーリーを学び、後半は園庭に出てそのマツを丁寧に観察した。

閖上海岸での市民の取組を知る

大橋氏を囲みクロマツの前で集合写真撮影

考察、及び今後の展開

参加者は、大橋氏のお話から震災以前、閖上海岸に子どもから大人まで多くの市民が長年にわたり県等と協働して保全してきた海岸再生林「ゆりりんの森」があったことを知り、震災を経てもなおその種子から育ったクロマツがセンターの園庭で元気に育っていることに感銘を受けていた様子が見られた。今後もゆりりん愛護会をはじめとしたボランティアの方々とこれらのクロマツを通して交流を図っていきたい。

事業費(受託金額)	館内イベントに含む	経費(人件費含む)	館内イベントに含む	売上	館内イベントに含む

事業種別	(1.8) その他、第3条の目的を達成するために必要と認められる事業	事業番号	(1.8)-1
事業名 業務名	TRAIL GATE／みちのく潮風トレイル Hiking Map Book 及び Data Book の販売		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元			
関係団体	一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所		
担当者	業務主任:相澤久美　業務補佐:板谷学、森恭平、松川亮太、柳田真澄		

実施内容

【事業概要】

みちのく潮風トレイルのルートを掲載した「みちのく潮風トレイル Hiking Map Book」や、ハイキングに必要な情報、水場や商店等のランドマークや距離、標高差を記した「Data Book」を店頭やオンラインショップで継続して販売している。これらの商品は、TRAIL GATE(オンラインショップ含む)の他、トレイル沿線上のサテライト施設や協力施設と東京の一部書店や三鷹の Hiker's Depot でも販売協力していただいている。

【目的】

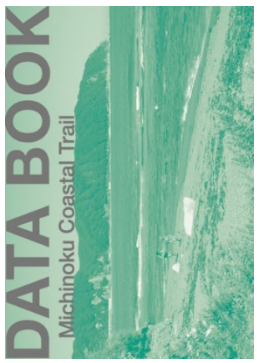
みちのく潮風トレイルを安心安全に歩いていただくことを目的とし製作販売している Hiking Map Book は、トレイル開通時に環境省が発行していたトレイルマップに比べ、軽量でありながら地点情報や標高図を掲載したことから、ハイカーがハイキングの計画を立てる上での利便性の向上につながっている。売上の一部は寄付としてトレイルの整備等に役立てている。

【実施内容】

① みちのく潮風トレイル Hiking Map Book の販売(4 月 1 日から、約 3,000 冊販売)

② Data Book の販売

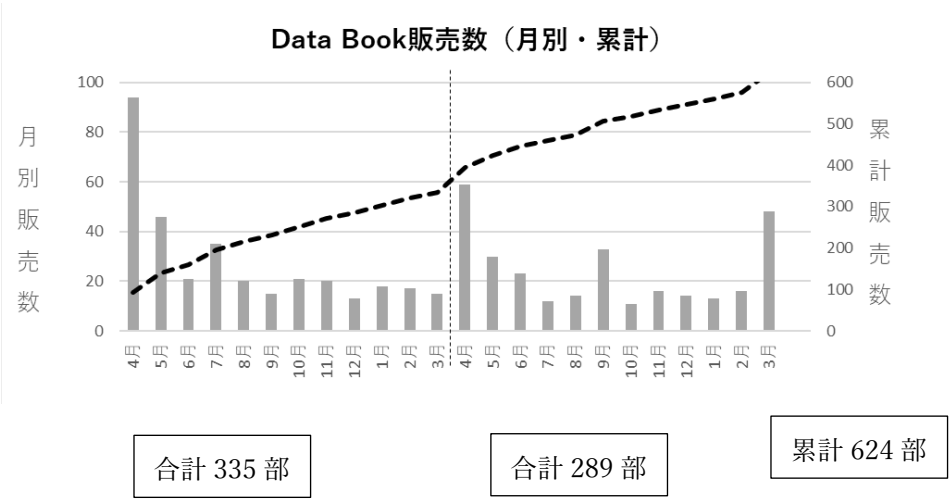
みちのく潮風トレイル Hiking Map Book



Data Book

商品名		販売冊数
Hiking Map Book	01 八戸～久慈	320
	02 久慈～宮古（北部）	273
	03 宮古（北部）～山田	207
	04 山田～釜石	127
	05 釜石～陸前高田	124
	06 陸前高田～気仙沼（南部）	108
	07 気仙沼（南部）～女川	104
	08 女川～石巻	110
	09 石巻～名取	155
	10 名取～相馬	186
	１０冊セット	151
	販売合計冊数	3224
DataBook		289

令和４年度累計販売冊数



<table>
<tr><td colspan="6">考察、及び今後の展開</td></tr>
<tr><td colspan="6">コロナ禍明けを見込んだハイカーが事前の準備・旅の計画を立てるために Hiking Map Book、Data Book を購入する傾向が見られた。海外からは特にオーストラリアからの注文が多かった。
3 月 11 日に NHK ラジオで全国放送している「石丸謙二郎の山カフェ」に、みちのく潮風トレイルが取り上げられて以降、しばらくの間、「ラジオを聞いた」と来館し購入する方が増加した。関東・関西などの遠方の方は電話にて通信販売で購入していただき、普段の販売数を上回った。裏を返せば、まだまだみちのく潮風トレイルの認知度は低いという表れであり、より広く知っていただくための活動が必要であることが顕著になった。
来年度は Hiking Map Book の改訂版の制作販売を予定している。</td></tr>
<tr><td>事業費</td><td>5,116,528 円
（売上純利益：
4,739,095 円）</td><td>経費
（人件費含む）</td><td>5,067,341 円</td><td>売上</td><td>49,187 円</td></tr>
</table>

2.1. 旅行業法に基づく旅行業

本事業年度は実施なし。

2.2. 旅行業法に基づく旅行業者代理業

本事業年度は実施なし。

2.3. 宿泊施設及びガイドのあっせん事業

本事業年度は実施なし。

2.4. トレイルに関する旅行商品企画事業

本事業年度は実施なし。

事業種別	(2.5)トレイル関連商品の販売事業	事業番号	(2.5)-1
事業名 業務名	TRAIL GATE／ハイキングギア・書籍等の販売		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元			
関係団体	株式会社ハイランドデザイン		
担当者	業務主任:板谷学　業務補佐:柳田真澄、松川亮太		

実施内容

【事業概要】

令和 3 年度より環境省東北地方環境事務所から国有財産使用許可を受け、名取トレイルセンターの一角にて、東京・三鷹の Hiker's Depot とみちのくトレイルクラブ協働の「TRAIL GATE」というハイキングギアショップを運営し、バックパック、カトラリー、ツェルトやヤマビル・虫よけ等のハイキングギアや関連書籍等を販売した。

【目的】

みちのく潮風トレイルの情報発信の拠点である名取トレイルセンターからハイキング文化の発信をするとともに、ハイカーに対して必要な道具の提案やハイキング中のハイカーに必要な物品の提供を目的としている。

【実施内容】

① ハイキングギアの販売

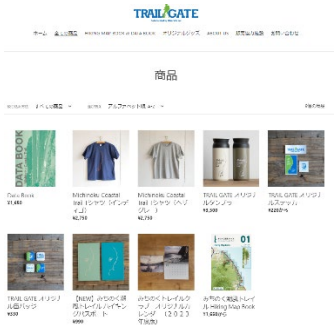
バックパック、カトラリー、アルコールストーブ、ツェルト等のハイキングギアの他、ヤマビル忌避剤、乾麺などの食料品等、みちのく潮風トレイルを歩く上で必要になる商品を販売した。

② オンラインショップの運営、商品発送対応

令和 3 年から開設しているオンラインショップにてオリジナルグッズ、Hiking MapBook、DataBook を引き続き販売した。Hiking MapBook、DataBook は日本国内だけでなく、海外からも注文をいただいた。

TRAIL GATE 外観

オリジナルグッズのレイアウトの様子

<table>
<tr>
<td>
書籍販売の様子</td>
<td> 

オンラインショップの様子</td>
</tr>
<tr>
<td colspan="2">考察、及び今後の展開
新型コロナウイルスの海外渡航規制が弱まり、海外からの「みちのく潮風トレイルを歩いてみたい」という方々からの Hiking Map Book の発注が多く見られた。
東北のアウトドアショップでは取り扱いが少ない製品も販売していることを SNS で発信し、それを見かけた方が購入に足を運んでいただいたケースもある。中には盛岡市からお越しいただいたお客様もあった。
また、9 月からは野営場のお客様向けに薪の販売を行い想定以上のご購入を頂いた。薪は宮城県、山形県の針葉樹を使用していただき、名取市内にある就労支援業者より仕入を行っている。
次年度は、MCT 沿線の観光協会や地元企業と連携をし、地元特産品の販売を行いたい。また、ハイカーや野営場のお客様向けに今後需要が見込まれそうなハンモックの販売も行いたい。
仕入れに対して売上はまだ伸び切っておらず、引き続き販売促進の取り組みが必要である。売上だけが目的ではなく文化発信としての役割も帯びているため、本質を欠いた利用促進をしないよう留意する必要がある。</td>
</tr>
</table>

事業費	1,203,482 円 （売上純利益：557,897 円）	経費 （人件費含む）	1,428,496 円	売上	−225,014 円

事業種別	(2.5)トレイル関連商品の販売事業	事業番号	(2.5)-2
事業名 業務名	TRAIL GATE／オリジナル商品の販売		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元			
関係団体	株式会社ハイランドデザイン		
担当者	業務主任:板谷学　業務補佐:松川亮太、柳田真澄		

実施内容

【事業概要】

名取トレイルセンターの来館者から、「みちのく潮風トレイルのグッズが欲しい」という要望を受けて令和 2 年 4 月より TRAIL GATE で販売しているオリジナルグッズ(T シャツ、缶バッチ、ステッカー、財布)を継続して販売し、加えて、令和 3 年度に年賀寄付金の配分を受けて作成したみちのく潮風トレイルの歩き旅を記録する手帳「ハイキングパスポート」も店頭およびオンラインショップで販売した。

【目的】

名取トレイルセンターはみちのく潮風トレイルを歩くハイカーや地域住民、観光客が訪れる施設である。オリジナルグッズは、これから歩くハイカーにとってはトレイルを歩いている目印として活用することができ、また、歩き終えたハイカーにとっては、歩いた思い出の一つとして手に取ることができるため、オリジナルグッズ＝ファングッズを通して、みちのく潮風トレイルとハイカーの関係性を構築する一助とすることを目的としている。

地域住民や観光客においても、お土産物として手に取ることができるため、みちのく潮風トレイルに関心を向けていただくきっかけとして活用する。また、新たに販売を開始したハイキングパスポートは単なるスタンプラリーとして景品を集める取り組みではなく、地域との交流促進を主眼におき長く大切にしてもらえることを目的とした。

【実施内容】

① オリジナル商品の販売

・T シャツ(グレー、ネイビー)

・缶バッジ

・ステッカー

・財布

・タンブラーボトル　等

T シャツはネイビー色は売れ行きが良く完売したため、地元の企業に作成を依頼した。

② 新たなオリジナル商品の販売

・ハイキングパスポート

・ピンバッチ(デザインは環境省が作成したものを踏襲)

ハイキングパスポートは青緑色と薄抹茶色の 2 色を 650 冊ずつ作成し販売した。店頭、EC サイト、またサテライト施設などでの委託販売も売れ行きがよく、追加増刷を行った。
Hiking Map Book と同様に、NHK ラジオ「石丸謙二郎の山カフェ」を契機に売れ行きが大きく伸びた。

ハイキングパスポート(2色)

ハイキングパスポートの中身

考察、及び今後の展開

長引くコロナ禍の影響でセンター閉館期間もあり、オリジナルグッズの販売は伸び悩んだ。次年度は HP・SNS での広報にも力を入れ、販売数を増加させられるような施策を検討したい。新たなデザインの T シャツや来館者に手に取っていただきやすいオリジナルコーヒーを地元の企業と連携し制作、販売していきたい。
大きく売上を上げるには至っていないが、ファングッズとしての販売は順調である。次年度は新たなオリジナルグッズの販売に取り組む。

事業費 (受託金額)	1,527,915 円 (売上純利益: 548,366 円)	経費 (人件費含む)	1,523,141 円	売上	4,774 円

事業種別	(2.5)トレイル関連商品の販売事業	事業番号	(2.5)-3
事業名	自動販売機での飲料提供及び洗濯乾燥機の設置		
期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日		
委託元			
関係団体	(株)ダイドードリンコ、㈱コカ・コーラボトラーズ		
担当者	業務主任:板谷学　業務補佐: 板橋真美		

実施内容

【事業概要】

名取 TC 館内及び敷地内にある自動販売機(館内 1 台、屋外 2 台、計 3 台)にて飲料を販売した。また、ここ数年利用率が上がらないという理由でコインランドリーの機器を業者に返却し、NPO で家庭用乾燥機付き洗濯機を購入・設置し、ハイカーへのサービス提供を行った。

【目的】

名取トレイルセンターを訪れるハイカー等の利用者に対し、休憩時にリフレッシュ出来る飲料を提供する。また、洗濯を必要とするハイカーに有料で洗濯機を貸し出す。

【実施内容】

飲料の自動販売機は、(株)ダイドードリンコ 2 台と(株)コカ・コーラボトラーズ 1 台の計 3 台を設置している。環境への配慮から、自動販売機の中にはリサイクルペットボトルを用いた製品と缶製品のみを補充してもらえるよう依頼し、使い捨てプラスチックの削減につながるようご協力をいただいている。

館内の自動販売機

屋外(野営場側)の自動販売機

新しく購入・設置した洗濯機

考察、及び今後の展開

令和 4 年度は野営場が正式オープンし、週末など屋外で過ごす人たちが増えたため、屋外設置の自動販売機の売り上げが伸びた。また、コインランドリーについては業者から撤去の申し入れがあったことは残念だったが、歩いて来て野営場を利用するハイカーへのサービス(有料)として継続する必要があり、今回購入することとした。家庭用のため乾燥に時間がかかってしまうのが難点であり、今後の課題としたい。

事業費(受託金額)	80,578 円	経費(人件費含む)	18,076 円	売上	62,502 円